

理事会・支部長会の当日、各自印刷またはデータ等によりご持参下さい。

令和7年度

第1回理事会・支部長会議

日時 令和7年5月15日(木)午後2時

場所 水戸市笠原町 978-26

茨城県市町村会館 1階 講堂

次 第

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 報告事項

①連合会及び関プロ理事会等の報告について … 資料 1

②各委員会事業計画等について … 資料 2

4. 議題

①令和6年度事業報告について … 資料 3

②令和6年収支決算報告について

③会計監査報告について

④令和7年度事業計画(案)について

⑤令和7年度収支予算(案)について

⑥理事・監事後任者の選任について

⑦会費等徴収規程(案)について

⑧会員増強運動について(各自の取り組み報告) … 資料 4

5. その他

… 資料 5

6. 閉 会

第70回定例理事会

1. 日 時 令和7年3月13日(木) 13:30~16:30

2. 場 所 WEB開催

3. 出席者 (敬称略)

【WEB参加】

会 長	古谷誠章 (連合会)		
副会長	佐藤幸吉 (宮城)	笹川 淳 (東京)	上原伸一 (神奈川)
	濱田 修 (愛知)	石黒時紀 (岐阜)	佐名田敬荘 (広島)
	西菌幸弘 (鹿児島)		

参 与	小野田吉純 (連合会)		
常務理事	日高顕一 (連合会)		
理 事	高野壽世 (北海道)	本間恵美 (北海道)	飯田善之 (青森)
	風晴智順 (青森)	丸岡庸一郎 (埼玉)	久富清敏 (千葉)
	浦江真人 (東京)	鴛海浩康 (東京)	柿本章子 (東京)
	長谷見雄二 (東京)	江口信行 (長野)	櫻木耕史 (岐阜)
	伊藤公智 (三重)	照田繁隆 (石川)	森川清和 (福井)
	高田光雄 (京都)	山領 正 (京都)	塩飽繁樹 (岡山)
	加藤史隆 (広島)	藏本和夫 (山口)	藤岡 旭 (香川)
	本間里見 (熊本)	井上正文 (大分)	松崎和夫 (大分)

監 事	米村博昭 (奈良)	尾藤淳一 (愛媛)
-----	-----------	-----------

オブザーバー	牧田武一 (大阪)	吉田浩司 (青年委員長)	石貫方子 (女性委員長)
	助川義浩 (茨城)		

4. 欠席者

副会長	岡本森廣 (大阪)		
理 事	大沼正寛 (宮城)	柴 和伸 (茨城)	大月敏雄 (東京)
	後藤 治 (東京)	杉浦泰輔 (愛知)	
オブザーバー	清水耕一郎 (まちづくり委員長)		

5. 出席者報告

理事 40名中 出席者 名

6. 議事録署名人

会 長 _____

監 事 _____

監 事 _____

7. 議案

- (1) 第66回建築士会全国大会鹿児島大会の決算について(資料1)
- (2) 建築物木材利用促進協定の更新について(資料2)
- (3) 産学連携教育懇談会の提言案について(資料3)
- (4) 後援名義等の使用許可について(資料4)

8. 報告事項

- (1) 建築甲子園審査委員会における決定事項について(資料5)
- (2) 令和6年度第33回全国まちづくり会議 in 松江の実施結果等について(資料6)
- (3) 第20回木の建築賞の実施について(資料7)
- (4) 住宅紛争処理支援セミナーの実施について(資料8)
- (5) 各種講習会の実施状況について(資料9)
- (6) 一級建築士の登録業務報告について(資料10)
- (7) 建築士会財政健全化検討TFの開催状況について(資料11)
- (8) 令和7年度建築士の日事業(連合会記念講演)について/企画(案)(資料12)
- (9) 建築士会の新入会員の加入持続化促進の取組について/企画(案)(資料13)
- (10) 臨時理事会の開催について(資料14)
- (11) 諸会議等および構成員の報告について(資料15)
- (12) 今後の理事会・総会等の開催スケジュールについて(資料16)

9. 次回(第71回)の開催について

令和7年5月29日(木) 13:30~16:00(学会ホール)

【資料 7-1】

日建連発 第 250 号

令和 7 年 1 月 28 日

NPO 木の建築フォーラム
理事長 大橋 好光 様

公益社団法人 日本建築士会連合会
会 長 古 谷 誠 章

公印省略

木の建築賞の募集ブロック再編成について

平素より当会の運営にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本会と NPO 木の建築フォーラムとの共催により、令和 3 年度より木の建築賞を 4 回実施してまいりました。令和 7 年度は、関東甲信越ブロック地区を対象に第 20 回目を迎える予定でございます。

しかしながら、ブロックごとの実施が 7 年に 1 度の開催では、実施頻度が低いという問題があります。また、近年の応募作品数の減少や円滑な運営のためには、募集ブロックの再編成が必要と考えております。

つきましては、本会より下記について提案させていただきますので、ご検討のほど何卒よろしくお願いいたします。

記

1. 現在の 7 ブロックから 4 ブロックへの再編成

- ① 北海道・東北ブロック（北海道・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島）
- ② 関東甲信越ブロック（茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・長野・新潟）
- ③ 東海北陸・近畿ブロック（静岡・愛知・岐阜・三重・富山・石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山）
- ④ 中国四国・九州ブロック（鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄）

【参考】 今後の建築士会連合会全国大会と再編後のブロックとの関係

大会実施年度 (木の建築賞募集年 度)	大会実 施都道 府県	担当ブロック (現行)	担当ブロック (再編 後)
R7年度 (R6年度)	大阪府	近畿ブロック	近畿ブロック
R8年度 (R7年度)	群馬県	関東甲信越ブロ ック	関東甲信越ブロック
R9年度 (R8年度)	香川県	中国四国ブロッ ク	中国四国・九州ブロ ック
R10年度 (R9年度)	岩手県	東北ブロック	北海道・東北ブロッ ク
R11年度 (R10年度)	富山県	東海北陸ブロッ ク	東海北陸・近畿ブロ ック
R12年度 (R11年度)	神縄県	九州ブロック	中国四国・九州ブロ ック

※R12年度 (木の建築賞募集年度: R11年度) の九州ブロックにおける大会実施都道府県
はブロック会議の議決前なので現段階では未定

以上

「建築士のための住宅紛争処理支援セミナー」の概要

令和7年2月21日

(公社)日本建築士会連合会

住宅の紛争処理は全国の都道府県で行われていて、その業務に携わる建築士と弁護士は重要な役割を担っています。建築士の紛争処理委員は、建築関係団体（士会を含む）から推薦され、指定住宅紛争処理機関（全国52の弁護士会）からほぼ3年毎に更新、選任されています。

建築士の紛争処理委員の人材確保（高齢化対策）と育成が課題となっていて、(公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センターと(公社)日本建築士会連合会が共同で企画し、建築士会員を対象とし、令和4年度から令和6年度までに全国の16士会でセミナーを実施してまいりました。

引き続き令和7年度も、各ブロックで1士会を選定していただき、セミナーを開催する予定です。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

1. 目的

- ・建築士は住宅紛争処理に重要な役割を果たしており、今後ともその期待は大きい。
- ・「建築士のための住宅紛争処理支援セミナー」の全国展開を図る。
- ・建築相談に係わっている建築士会員は多いので（支部を含む）、セミナーを通じて建築士の紛争処理委員の人材確保（高齢化対策）と育成に結びつける。

2. セミナーの概要

- ・主催者 : 開催士会（連合会から士会に委託）
- ・受講者 : 建築士会員（20名程度） / 原則対面受講（WEB併用可）

建築相談、住宅紛争処理に興味がある建築士を募集

（現在の紛争処理委員の協力を得る）

他士会員及び弁護士は受講可

・受講料 : 無料 (約 20 万円の委託金 / 講師謝金、会場費、事務費等)

・講義時間 : 約 2 時間 (第 1 部～第 3 部)、CPD 2 単位

・講義内容と講師

第 1 部 住まいのダイヤルの概要と紛争処理 30 分 講師 (支援センター職員)

第 2 部 建築士紛争処理委員の役割 40 分 講師 (建築士の紛争処理委員)

第 3 部 建築紛争処理に係る法律の基礎知識 40 分 講師 (弁護士の紛争処理委員)

講義後の質疑応答時間の設定 (有無) は自由

(第 2 部及び第 3 部の講師は、連合会委員の派遣も可能)

・講義資料 : 連合会から無償で提供

・必須事項 : セミナー視聴設備が必要 (連合会と支援センターが視聴、録画データ提出)

: 実施結果報告書と受講者アンケート (集計表を含む) を提出

3. スケジュール

4 月 ブロックにおいてセミナー開催士会を選定 5 月～6 月 セミナー実施計画書の提出

7 月 連絡 WEB 会議を実施 (開催士会、連合会、支援センター)

8 月～ 建築士会員に対する広報、セミナーの準備等

9 月 事前 WEB 会議を実施 (開催士会、連合会、支援センター)

10 月～ セミナーの 10 日前頃に直前 WEB 会議を実施 (開催士会、連合会、支援センター)

11 月～2 月 セミナー実施 ※ 後日、実施結果報告書と受講者アンケート (集計表を含む) を提出

監理技術者講習 開催状況および受講申込状況

士会名	令和5年度 受講者数		令和6年度 実施計画(令和7年2月13日現在)	
	開催数	受講申込者数	開催数	受講申込者数
連合会	23	563	24	610
北海道	17	68	18	61
青森	0	0	0	0
岩手	5	10	5	8
宮城	3	15	3	9
秋田				
山形				
福島				
茨城	1	4	1	9
栃木				
群馬	1	1	0	0
埼玉				
千葉	5	22	0	2
東京				
神奈川				
山梨	6	75	6	45
長野				
新潟	25	27	25	19
静岡				
愛知	8	62	8	78
岐阜	1	4	1	2
三重	2	20	2	10
富山	6	29	6	22
石川				
福井	9	73	9	62
滋賀	3	28	3	23
京都	4	21	4	19
大阪	8	99	8	75
兵庫				
奈良	7	12	4	9
和歌山	24	51	24	48
鳥取	6	56	6	47
島根				
岡山	15	40	14	27
広島	12	34	12	22
山口	12	17	12	14
徳島	3	22	3	14
香川	4	29	4	43
愛媛	8	20	5	16
高知	3	9	3	14
福岡	2	11	2	16
佐賀	5	29	3	17
長崎	5	23	5	14
熊本	3	22	2	10
大分	10	21	6	4
宮崎	5	8	6	11
鹿児島	4	6	2	0
沖縄				
合計	255	1531	236	1380

既存住宅状況調査技術者講習 受講者数の推移

2025年2月28日時点

士会名	令和5年度 受講者						合計	士会名	令和6年度 申込者						合計
	新規講習			更新講習					新規講習			更新講習			
	対面	オンライン	計	対面	オンライン	計			対面	オンライン	計	対面	オンライン	計	
北海道	7	9	16	27	89	116	132	北海道	8	8	16	5	32	37	53
青森	0	4	4	9	20	29	33	青森	0	1	1	0	10	10	11
岩手	1	0	1	7	7	14	15	岩手	1	0	1	2	4	6	7
宮城	0	3	3	0	53	53	56	宮城	0	6	6	0	10	10	16
秋田	0	2	2	36	30	66	68	秋田	0	2	2	9	8	17	19
山形	0	3	3	37	32	69	72	山形	0	1	1	3	11	14	15
福島	3	1	4	28	48	76	80	福島	13	1	14	11	15	26	40
茨城	0	8	8	19	53	72	80	茨城	0	8	8	0	26	26	34
栃木	0	7	7	0	35	35	42	栃木	0	3	3	0	8	8	11
群馬	5	2	7	5	23	28	35	群馬	1	1	2	1	11	12	14
埼玉	0	14	14	35	91	126	140	埼玉	0	7	7	9	26	35	42
千葉	8	11	19	25	48	73	92	千葉	7	4	11	4	22	26	37
東京	0	11	11	0	140	140	151	東京	0	10	10	0	44	44	54
神奈川	16	15	31	111	88	199	230	神奈川	16	12	28	18	24	42	70
山梨	0	1	1	22	18	40	41	山梨	0	0	0	2	8	10	10
長野	7	8	15	21	86	107	122	長野	0	2	2	0	17	17	19
新潟	0	6	6	23	72	95	101	新潟	0	3	3	0	24	24	27
静岡	4	7	11	0	64	64	75	静岡	6	4	10	0	24	24	34
愛知	6	15	21	29	92	121	142	愛知	8	9	17	5	35	40	57
岐阜	5	4	9	27	51	78	87	岐阜	3	6	9	7	8	15	24
三重	0	8	8	0	26	26	34	三重	0	2	2	0	10	10	12
富山	2	5	7	25	24	49	56	富山	2	3	5	1	7	8	13
石川	6	4	10	18	26	44	54	石川	0	8	8	0	10	10	18
福井	8	2	10	27	26	53	63	福井	2	2	4	11	14	25	29
滋賀	10	2	12	30	20	50	62	滋賀	13	3	16	11	10	21	37
京都	2	4	6	19	26	45	51	京都	5	5	10	6	6	12	22
大阪	26	10	36	93	138	231	267	大阪	19	7	26	20	29	49	75
兵庫	5	6	11	26	88	114	125	兵庫	0	5	5	0	22	22	27
奈良	0	1	1	0	45	45	46	奈良	0	3	3	0	4	4	7
和歌山	0	2	2	0	40	40	42	和歌山	0	2	2	0	4	4	6
鳥取	0	1	1	0	16	16	17	鳥取	0	2	2	0	5	5	7
島根	2	2	4	38	47	85	89	島根	3	2	5	6	9	15	20
岡山	7	3	10	14	39	53	63	岡山	5	2	7	3	5	8	15
広島	11	3	14	64	41	105	119	広島	17	4	21	15	11	26	47
山口	8	1	9	51	29	80	89	山口	3	2	5	5	7	12	17
徳島	7	2	9	31	24	55	64	徳島	7	4	11	12	9	21	32
香川	8	7	15	45	25	70	85	香川	12	3	15	12	11	23	38
愛媛	8	3	11	19	10	29	40	愛媛	4	3	7	2	8	10	17
高知	9	1	10	10	15	25	35	高知	4	2	6	0	4	4	10
福岡	13	8	21	30	66	96	117	福岡	19	11	30	5	21	26	56
佐賀	2	0	2	16	14	30	32	佐賀	0	4	4	8	2	10	14
長崎	4	0	4	18	26	44	48	長崎	5	0	5	2	8	10	15
熊本	7	3	10	18	22	40	50	熊本	7	4	11	9	11	20	31
大分	1	5	6	14	17	31	37	大分	4	1	5	3	9	12	17
宮崎	3	2	5	29	26	55	60	宮崎	3	1	4	5	5	10	14
鹿児島	0	1	1	0	27	27	28	鹿児島	0	1	1	0	6	6	7
沖縄	0	3	3	0	39	39	42	沖縄	0	3	3	0	5	5	8
連合会	63	-	63	133	-	133	196	連合会	72	0	72	38	0	38	110
合計	274	220	494	1,229	2,082	3,311	3,805	合計	269	177	446	250	619	869	1,315

建築士会財政健全化検討 TF の開催状況のご報告

○ (第 1 回) 令和 6 年 12 月 3 日 (火) 16:00~18:30

場 所 連合会 5 階会議室

出席者 (※WEB)

建築士会財政健全化検討 TF メンバー

委員長 古谷誠章 (連合会会長・東京士会会長)

副委員長 上原伸一 (連合会副会長・神奈川士会会長)

委 員 高橋幸二 (北海道士会常務)、風晴智順 (青森士会事務局長)、助川義浩 (茨城士会事務局長)

※石貫方子 (大阪士会副会長、連合女性委員長)、加藤史隆 (広島士会専務理事)

吉田浩司 (鹿児島士会、連合青年委員長)、※石川正 (沖縄士会専務理事)

事務局 小野田吉純 (参与)、日高顕一 (常務理事)、小林友和 (経理課長)

欠席 石井隆司 (愛知士会副会長)、岡本森廣 (連合会副会長・大阪士会会長)

議題 1 連合会の財政状況について

議題 2 各建築士会の財政状況について

議題 3 TF メンバーからの提供資料及び建築士会へのヒアリング結果について

○ (第 2 回) 令和 7 年 2 月 4 日 (火) 10:00~12:00

場 所 ZOOMによる WEB 開催

出席者

建築士会財政健全化検討 TF メンバー

委員長 古谷誠章 (連合会会長・東京士会会長)

副委員長 上原伸一 (連合会副会長・神奈川士会会長)

委 員 風晴智順 (青森士会事務局長)、石井隆司 (愛知士会副会長)

岡本森廣 (連合会副会長・大阪士会会長)、石貫方子 (大阪士会副会長、連合女性委員長)

加藤史隆 (広島士会専務理事)、吉田浩司 (鹿児島士会、連合青年委員長)

石川正 (沖縄士会専務理事)

事務局 小野田吉純 (参与)、日高顕一 (常務理事)、小林友和 (経理課長)

欠席 高橋幸二 (北海道士会常務)、助川義浩 (茨城士会事務局長)

議題 1 各種講習会の赤字削減 (案) について

議題 2 会報誌「建築士」発行に係る経費削減 (案) について

議題 3 「けんばい」の加入促進 (案) について

議題 4 建築士会へのヒアリング結果について

議題 5 全国一斉大規模アンケート項目 (案)

議題 6 今後のスケジュール等について

今後のスケジュールとしては下記の通り、建築士会全国一斉大規模アンケートの集計結果と提言に向けての第3回会議を4月に開催し、5月開催予定の第4回会議において、提言の取りまとめを行う予定です。

<今後の開催スケジュール>

	議題	備考
2024年 12月	3日:第1回 ・連合会の財政状況について ・各建築士会の財政状況について ・TFメンバーからの提供資料及び建築士会へのヒアリング結果について	
2025年 1月		
2月	4日:第2回 ・各種講習会の赤字削減(案)について ・会報誌「建築士」発行に係る経費削減(案)について ・「けんばい」の加入促進について ・建築士会へのヒアリング結果について ・アンケート調査項目(案)について ・今後のスケジュール(案)について	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> アンケート調査内容作成・調整 (2/14頃まで) ↓ アンケート調査開始(2/17～ 3/14予定) ↓ アンケート調査結果分析 </div>
3月		
4月	3日:第3回 ・提言(素案)について ・アンケート調査結果報告	
5月	(日時未定)第4回 ・提言のとりまとめ(連合会が実施する事項、各建築士会に取組を要請する事項)	26日:総務企画委員会への報告 28日:正副会長会議への報告 29日:定例理事会への報告
6月以降		関係委員会等で具体的な実施に向けた検討 ・教育・事業本委員会 ・情報・広報委員会 ・業務関連保険制度運営委員会 等

建築士会の新入会員の加入持続化促進の取組について／企画(案)

1. 現状・課題

- ・全国の建築士会では、存続のために、会員数の減少が切実な問題になっている。特に、近年、一旦加入した新入会員が継続して加入してもらえず早期に退会する問題が生じている。
- ・そのような問題に対して、各士会が新入会員のニーズを把握した上で、そのニーズに沿った対応が十分に行われているとは言えない。

2. 対応

- ・新入会員のニーズを把握した上で、そのニーズに沿った適切な対応を各士会で行ってもらえるように、連合会として支援していくこととする。
- ・実施方法については、以下の案が考えられる。

【案(調整中)】新入会員から直接<建築士会で活動してみたい事業>を募集し、各士会で実施

- ・新入会員のニーズを把握するために、連合会が全国士会の新入会員から<会員が建築士会で活動してみたい事業>を提案してもらい、その提案を連合会の青年・女性委員会による審査を通じて評価した上で一覧(アイデア集)にまとめ、各士会での活動のヒントにしてもらう。
- ・なお、提案の際には、個人でなく複数の会員からの提案を条件とすることにより、提案の機会を会員同士のコミュニケーションを促す機会としたい。併せて、各士会の青年・女性委員会から、新人会員へのコミュニケーションの機会として活かしていただくことが望ましい。

スケジュール(イメージ)

- ・以下のスケジュールを進めていく。

	連合会	連合会 青年・女性委員会	各士会	各士会 新人会員
3月	募集要項作成			
4月	提案募集			提案準備 ^{※1} 提案応募
5月				
6月				
7月				
8月		評価・整理		
9月	アイデア集提示 ^{※2}			
10月			事業検討	
11月				
12月				
1月				
2月			事業予算化	
3月				

※1:複数会員からの提案を条件とし、各士会の青年・女性委員会からのサポートが望ましい。

※2:可能であれば、全国大会(9月19日)時での報告が望ましい。

都道府県建築士会会員数一覧

令和6年度

士会会員数は各月1日現在

士会名	12月	1月	2月	3月	前月差	前年3月	前年3月差
北海道	3,516	3,438	3,426	3,431	5	3,536	▲ 105
小計	3,516	3,438	3,426	3,431	5	3,536	▲ 105
青森	935	936	935	935	0	957	▲ 22
岩手	1,302	1,300	1,298	1,295	▲ 3	1,360	▲ 65
宮城	690	689	688	687	▲ 1	725	▲ 38
秋田	921	924	921	922	1	948	▲ 26
山形	802	801	799	799	0	829	▲ 30
福島	1,380	1,376	1,374	1,371	▲ 3	1,432	▲ 61
小計	6,030	6,026	6,015	6,009	▲ 6	6,251	▲ 242
茨城	1,674	1,671	1,670	1,669	▲ 1	1,724	▲ 55
栃木	1,113	1,113	1,114	1,114	0	1,159	▲ 45
群馬	1,137	1,134	1,133	1,134	1	1,178	▲ 44
埼玉	1,203	1,203	1,206	1,202	▲ 4	1,237	▲ 35
千葉	1,544	1,542	1,534	1,545	11	1,569	▲ 24
東京	4,425	4,435	4,510	4,560	50	4,715	▲ 155
神奈川	2,004	2,004	2,000	2,013	13	2,054	▲ 41
山梨	870	880	880	875	▲ 5	900	▲ 25
長野	1,955	1,953	1,952	1,951	▲ 1	2,032	▲ 81
新潟	1,617	1,617	1,614	1,609	▲ 5	1,674	▲ 65
小計	17,542	17,552	17,613	17,672	59	18,242	▲ 570
静岡	1,090	1,090	1,090	1,090	0	1,115	▲ 25
愛知	3,120	3,115	3,110	3,100	▲ 10	3,230	▲ 130
岐阜	908	908	908	903	▲ 5	943	▲ 40
三重	689	689	690	686	▲ 4	699	▲ 13
富山	1,095	1,090	1,090	1,090	0	1,155	▲ 65
石川	1,133	1,143	1,141	1,126	▲ 15	1,172	▲ 46
福井	833	833	834	834	0	868	▲ 34
小計	8,868	8,868	8,863	8,829	▲ 34	9,182	▲ 353
滋賀	677	676	669	677	8	705	▲ 28
京都	1,147	1,144	1,143	1,142	▲ 1	1,188	▲ 46
大阪	2,160	2,165	2,165	2,170	5	2,285	▲ 115
兵庫	1,257	1,262	1,265	1,267	2	1,319	▲ 52
奈良	685	685	687	686	▲ 1	704	▲ 18
和歌山	1,195	1,195	1,204	1,200	▲ 4	1,222	▲ 22
小計	7,121	7,127	7,133	7,142	9	7,423	▲ 281
鳥取	590	590	590	585	▲ 5	600	▲ 15
島根	1,130	1,130	1,130	1,130	0	1,150	▲ 20
岡山	1,174	1,178	1,179	1,178	▲ 1	1,206	▲ 28
広島	1,575	1,575	1,575	1,575	0	1,615	▲ 40
山口	1,526	1,526	1,526	1,526	0	1,549	▲ 23
徳島	925	925	929	927	▲ 2	963	▲ 36
香川	1,245	1,245	1,245	1,245	0	1,290	▲ 45
愛媛	1,397	1,397	1,391	1,390	▲ 1	1,423	▲ 33
高知	818	818	818	818	0	842	▲ 24
小計	10,380	10,384	10,383	10,374	▲ 9	10,638	▲ 264
福岡	2,025	2,020	2,020	2,010	▲ 10	2,047	▲ 37
佐賀	873	870	870	869	▲ 1	893	▲ 24
長崎	919	924	921	920	▲ 1	949	▲ 29
熊本	1,215	1,210	1,210	1,210	0	1,245	▲ 35
大分	1,045	1,042	1,037	1,040	3	1,051	▲ 11
宮崎	895	894	893	892	▲ 1	930	▲ 38
鹿児島	1,684	1,679	1,678	1,673	▲ 5	1,711	▲ 38
沖縄	848	850	849	846	▲ 3	856	▲ 10
小計	9,504	9,489	9,478	9,460	▲ 18	9,682	▲ 222
合計	62,961	62,884	62,911	62,917	6	64,954	▲ 2,037

関ブロ令和7年度第1回会長会議

日時 令和7年4月11日(金) 12:30~14:45
会場 ホテルテラスザガーデン水戸 2階「シーズンコートⅡ」
出席者 埼玉= 丸岡庸一郎(会長) 茨城= 柴和伸
長野= 江口信行 新潟= 田中隆司
千葉= 久富清敏 東京= 古谷誠章(連合会会長)
群馬= 高橋康夫 山梨= 長田正彦
神奈川= 上原伸一 栃木= 柴田道夫
連合会= 小野田吉純(参与) (敬称省略)
事務局= 駕海浩康(常務)、小川和久、笠木直人

開催挨拶 丸岡関ブロ会長挨拶
連合会挨拶 古谷連合会会長挨拶

議事 1. 本日の理事会議事について

- ・令和6年度収支報告、7年度予算案等について
- ・関ブロ青年協東京大会について
- ・その他

2. 関ブロ災害時協力支援について (3~14頁)

※第3回会長会議(10/2)にて、正副支援県案について、ご了解頂きましたが、協定案についてご意見は頂きましたが、協議不十分でしたので、修正案を再提出させていただきます。

3. 令和7年度「第20回木の建築賞」の実施について(関ブロ圏実施)

(15~25頁)

※第3回会長会議にて、二次選考担当については東京士会が担当することとなりましたが、その後の連合会との協議を行い、木のフォーラムとも二次選考日・会場の承認が有りました。また、連合会より審査員の推薦依頼がありましたので、進捗状況についてのご報告と、関ブロ事業として理事会に提案いたしたく提出させていただきます。

- ・応募開始 8月1日(土)~
- ・二次選考 11月1日(土) 会場:東京建築士会会議室
- ・士会推薦審査員:古谷誠章・木下庸子・佐々木龍郎(東京建築士会)

4. 令和7年度第2回会長会議の開催について

- ・協議内容:群馬大会開催案(チラシ等)、木の建築賞等について
- 候補日 6月17日(火) 11:00~13:00 会場:学会308会議室

【参考】 今後の建築士会連合会全国大会と再編後のブロックとの関係

大会実施年度 (木の建築賞募集年 度)	大会実 施都道 府県	担当ブロック (現行)	担当ブロック (再編 後)
R7年度 (R6年度)	大阪府	近畿ブロック	近畿ブロック
R8年度 (R7年度)	群馬県	関東甲信越ブロッ ク	関東甲信越ブロック
R9年度 (R8年度)	香川県	中国四国ブロッ ク	中国四国・九州ブロ ック
R10年度 (R9年度)	岩手県	東北ブロック	北海道・東北ブロッ ク
R11年度 (R10年度)	富山県	東海北陸ブロッ ク	東海北陸・近畿ブロ ック
R12年度 (R11年度)	神奈川	九州ブロック	中国四国・九州ブロ ック

↑ 再編前
↓ 再編後

※R12年度 (木の建築賞募集年度: R11年度) の九州ブロックにおける大会実施都道府県
はブロック会議の議決前なので現段階では未定

以上

木の建築賞の開催
R12年度 (R12年度) 近畿
R13年度 (R13年度) 関東
R14年度 (R14年度) 北海道
R15年度 (R15年度) 中国四国

関東甲信越建築士会ブロック会 連合会役員推薦予定

関ブロック役員推薦枠は、平成20年度より会長1名、理事5名(うち1名を副会長)、監事1名。

1008年会長会制定)

2024年会長承認

年度 県名	24・25	26・27	28・29	30・31	令和2・3年	令和4・5年	令和6・7年	令和7・8年
連合会長	三井所清典	三井所清典	三井所清典	三井所清典	近角 真一	近角 真一	古谷 誠章	
茨城	柴 和伸 (副会長)	柴 和伸 (副会長)	柴 和伸 (副会長)	—	—	柴 和伸	柴 和伸	
長野	—	関 邦則	場々 洋介	—	荻原 白	—	江口 信行	理事
新潟	川ノ口 信一	川ノ口 信二	—	川ノ口 信一 (副会長)	—	田中 隆司	—	理事
千葉	青柳 英俊	—	圓崎 直之	竹江 文章	竹江 文章 (副会長)	—	久富 清敏	
群馬	渡辺 良彦	—	—	田仲 豊	田仲 豊	—	—	理事
山梨	渡邊 正	—	雨宮 健一	—	雨宮 健一	長田 正彦	—	理事
神奈川	(花方 威之) 会長推薦	(花方 威之) 会長推薦	—	金子 修司	金子 修司 (監事)	<辞退>	上原 伸一 (副会長)	
栃木	—	岡田 義治	青木 格次	—	—	柴田 道夫	—	
埼玉	(高橋 康治) 会長推薦	(高橋 康治) 会長推薦	—	—	江口 満志	—	丸岡 庸一郎	
東京	理事⇒会長候補	中村 勉	—	近角 真一	理事⇒会長候補	古谷 誠章 (副会長)	理事⇒会長候補	理事
ブロック 幹事県	山梨・神奈川	栃木・埼玉	茨城・長野	新潟・千葉	群馬・山梨	神奈川・栃木	埼玉・茨城	長野・新潟

24年茨城
全国大会開催

* 非制限業種の会
長県なし
30年(2018埼玉)全
国大会

* 赤字理事は幹事県
*()は非制限業種での会長推薦

順番による理事推薦予定の5都県

* 〃は会長協議による推薦

関東甲信越建築士会ブロック会 令和7年度第1回 理事会

日 時 令和7年4月11日(金) 15:00~16:45
会 場 ホテル テラスザガーデン水戸 2階「シーズンコートⅠ」
出席者 埼玉=丸岡 庸一郎(会長)、佐藤 彰宏(副会長)、加藤 正志
茨城=柴 和伸、武村 実(副会長)、相澤 晴夫(監事)
長野=江口 信行
新潟=田中 隆司、田中 みちよ
千葉=久富 清敏、蒲生 良隆、秋元 卓哉
群馬=高橋 康夫
山梨=長田 正彦(懇親会不参加)
神奈川=上原 伸一、雨森 隆子
栃木=柴田 道夫、片嶋 常隆、齊藤 弘江
東京=可児 才介、奥茂 謙仁、佐々木 龍郎、定行まり子(監事)
常務理事=駕海 浩康(東京)
連合会 会長:古谷 誠章、参与:小野田 吉純
茨城県 小川 憲一、横須賀 孝
事務局 助川 義浩、黒澤 航太

関ブロ事務局 小川 和久、遠藤 智之、笠木 直人(東京)

欠席者 臼田 幸夫・青柳 悟(長野)、上村 康(新潟)
須田 和正・神澤 愛香(群馬)、渡辺 譲・土谷 芳仁(山梨)
長瀬 光市(神奈川) (敬称省略)

■出席者の確認 役員32名中 出席 名。欠席 名

■16:30~ 災害対応代表者会議参加者同席・開催概要報告

◆17:00~19:00 懇親会(隣室「シーズンコートⅡ」)

◆開催県会長挨拶

■関ブロ会長挨拶

■連合会会長挨拶

■議 事

1. 令和6年度事業報告、収支決算(貸借対照表及び正味財産増減計算書)、
監査報告の承認の件

- (1) 事業報告 (3～5 頁)
 (2) 貸借対照表及び正味財産増減計算書報告 (6～7 頁)
 (3) 監査報告 (8 頁)
 ・提案理由 規程第9条(3)に基づき、前年度の事業報告、及び収支決算
 をご承認願いたい。
2. 令和6年度優良建築物表彰承認の件 (9～15 頁)
 (1) 優良建築物表彰推薦 埼玉県・千葉県・神奈川県・山梨県
 ・提案理由 本会「優良建築物表彰規程」に基づき、表彰案をご承認願いたい。
3. 令和7年度新役員の選出の件 (16～17 頁)
 (1) 新年度会長他、三役の選出
 ・提案理由 規程第5条に基づき、新年度三役を選出願いたい。
 なお、慣例では以降の議事進行は、新年度会長に議長に就任
 願うものである。
4. 令和7年度事業計画(案)、収支予算(案)(正味財産増減計算書)承認の件
 (1) 事業計画(案) (18～22 頁)
 (2) 収支予算書(案) (23 頁)
 ・提案理由 規程第9条(2)に基づき、事業計画案と収支予算案を承認願いたい。
5. 優良建築物表彰実施の件 (24～25 頁)
 ・提案理由 令和7年度事業計画に基づき、表彰規定案をご承認願いたい。
6. 第20回「木の建築賞」実施について (26～30 頁)
 ・提案理由 令和7年度事業計画に基づき、表彰規定案をご承認願いたい。
7. その他
 ・令和6年度第3回理事会議事メモ (31～32 頁)
 ・令和7年度関ブロ青年協東京大会、関連シンポジウム (33～36 頁)
 ・令和7年度建築士会全国大会おおさか大会案内(9月27日) (37～47 頁)
 ・都道府県建築士会会員数一覧(連合会3月理事会資料より) (48 頁)
 ・第9回関ブロ災害対応代表者会議(同時開催)概要報告 (抜粋別紙)
 ・その他
- (公社)日本建築士会連合会 報告等 (別紙)
1. 第70回定例理事会(3/13(木))での了承議案(一部)の報告
 (1) 建築物木材利用促進協定の更新について 【資料1】
 (2) 産学連携教育懇談会の提言案について 【資料2】
2. 第70回定例理事会(3/13(木))での報告事項(一部)の報告
 (1) 建築甲子園審査委員会における決定事項について 【資料3】
 (2) 住宅紛争処理支援セミナーの実施について 【資料4】
 (3) 建築士会財政健全化検討タスクフォースの開催状況について 【資料5】
 (4) 令和7年度建築士の日事業(連合会記念講演)について 【資料6】
 (5) 建築士会の新入会員の加入持続化促進の取組について 【資料7】
- 参考 (1) 新入会員による<建築士会で取り組みたい事業>アイデア募集について

令和7年度関ブロ三役、各都県選出役員名簿（案）

県名	会長	副会長	理事	常務理事	監事
茨城 令和7年 (〃 東京大会)	柴 和伸	1 名	1 名	(7年全国大会 大阪大会)	
長野 令和8年 (〃 群馬大会)		江口 信行	1 名	(8年全国大会 群馬大会)	1 名
新潟 令和9年			3 名		
千葉 令和10年			3 名		
群馬 令和2年			3 名		
山梨 令和3年			3 名		
神奈川 令和4年			3 名	(4年全国大会 秋田大会)	
栃木 令和5年 (青年協新潟大会)			3 名	(5年全国大会 静岡大会)	
埼玉 令和6年 (青年協千葉大会)			3 名	※参考 (6年全国大会 鹿児島大会)	
東京			3 名	鴛海 浩康	1名選出

※各都県7月末日までに、当年度役員についてご稟願願います。

第3回建築士会財政健全化検討TF議事録(案)

1. 日時 令和7年4月3日(木) 15:00~17:00

2. 場所 ZOOMによるWEB開催

3. 出席者

建築士会財政健全化検討TFメンバー

委員長 古谷誠章(連合会会長・東京士会会長)

副委員長 上原伸一(連合会副会長・神奈川士会会長)

委員 高橋幸二(北海道士会常務)、風晴智順(青森士会事務局長)、助川義浩(茨城士会事務局長)

石井隆司(愛知士会副会長)、岡本森廣(連合会副会長・大阪士会会長)

石貫方子(大阪士会副会長、連合女性委員長)、吉田浩司(鹿児島士会、連合青年委員長)

石川正(沖縄士会専務理事)

事務局 小野田吉純(参与)、日高颯一(常務理事)、小林友和(経理課長)

欠席 加藤史隆(広島士会専務理事)

4. 会議内容

1) 委員長挨拶

古谷委員長より、下記の通り挨拶があった。

3月31日で大学の定年退職を迎えたが、荣誉フェローとなり、本日はその会議室から接続している、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

2) 議題

議題1 全国一斉大規模アンケート結果のご報告(暫定)(資料1、参考資料)

小林経理課長より、議題1についての説明があった。

石貫委員より参考資料として、女性委員会が行ったアンケートについての説明があった。

令和5年6月に全国の女性委員会・青年委員会・事務局を対象にアンケートを実施。男女の回答は半々で、年代は40代が多い。入会のきっかけは、「仲間づくり」、「知人の紹介」が多く、一方で会員のメリットは、「研修会参加費の割引」、「毎月の会誌」が多い。全国大会への参加では、「参加したことが無い」が最多であったが、「期待以上」、「期待通り」の意見も多いことから、参加していただければ全国大会の良さは分かってもらえるものと思う。建築士会の企画で楽しかった企画は、「見学会」、「建築士事業」が多い。

また、これから取り組んでみたい活動では、「子ども、学生対象事業」、「勉強会、セミナー等」が多い。あなたが考える「魅力ある建築士会」とは?では、「自己研鑽できる・スキルアップ」、「社会貢献、地域貢献できる」が多い。10年前との会員数比較では、沖縄士会が(972名→1014名)と47士会で唯一増えている。事務局としての自由意見では、「メリットが無いと書く者がいるが、そうした場合ほど会の活動に参加していないことが多い」、「若い方はたとえ会費が0円でも入会されません」などの意見があった。

<各意見>

(風晴委員)

東北ブロックから出た意見ですが、令和9年に岩手大会を予定しており、前回のあきた大会に倣い各士会100万円ずつ負担することがブロック会議で決まったが、各士会の負担にも限界があり、今後の全国大会の運営方法を考えてもらいたい。例えば、全国大会の開催を東京-地方-東京と交互にすることや、北海道士会においても、運営が厳しいこともあり、北海道を東北ブロックに含めてもらいたいと北海道士会から要望があった。今後、連合会の総務・企画委員会で議論をしていただきたく、まず本TFに意見として述べさせてもらった。

(岡本委員)

TFでも是非取り上げるべき。近畿ブロックでは、毎年積立てを行っているので毎年の負担額は少なく済んでいる。各士会でもこの全国大会の運営は厳しくなっている。また、おおさか大会では、近畿5士会より10名ずつスタッフを出してもらい、総勢50名のマンパワーを確保している。

(古谷委員長)

日常的にブロックで支え合うのはとても良い事である。各建築士会は真に多様であってよい。またブロック会もしかり、全国大会のメニューや運営方法も多様であってよい。それぞれの事情に応じた全国大会の在り方があってよいのではないか。

(上原副委員長)

他ブロックでは、士会の数が少ないこともあり、2回目という士会も多いが、関東ブロックは10士会と士会の数も多く、神奈川士会など、まだ1回目という士会もある。

(高橋委員)

全道大会でも同じような状況である。なるべくお金を掛けないでやろうという流れであり、昨年の日高大会では、100万円の予算のうち50万円で済ませ、50万円返納している。地方では会場費など節約できるし、自由な発想で出来る範囲で行う新しい取り組みが必要である。

(石川委員)

次回の沖縄大会では、鹿児島大会と同じことが出来るかととても危惧している。

(古谷委員長)

アルカシア(アジア建築家評議会)がタイのチェンマイで開催されたことがあったが、その時は森の屋外で開催して今でも思い出深く覚えている。そのような環境を楽しみ、ローコストでの開催もある。東北ブロックに北海道が加わることで、1士会あたりの負担は減る。ただ北海道は魅力的な土地なので、合併という選択でなく、ローコストな取り組みでの開催も検討していいのではないか。また近畿のような近県からの人的協力や資金面での協力があると良い。

(小野田参与)

そのようなご意見を踏まえTFでとりあげるが、5月開催のTFでの取りまとめをもって、今後、総務・企画委員会で議論していきたい。

(岡本委員)

アンケートの中で、成功体験はあったが、その効果や実施方法、改善策が無かったので、各士会が実行に移せないのではないか。短時間ではあるが、部分的にでもリサーチしたらどうか。

(小野田参与)

ご趣旨は理解したが、来月のTFのまとめまで時間の制約がある。検討するが、アンケート結果を見た士会が気になる取り組みがあれば、その士会に直接問い合わせるなどのコミュニケーションも期待したい。

議題2 これまでに議題に上がった士会連合会の課題(各種講習会、会報誌「建築士」、「けんばい」)の検討状況のご報告(資料2-1、2-2、2-3)

小野田参与より、議題2について説明があった。

<各意見>

(古谷委員長)

既存住宅状況調査技術者の活用については、行政などに働きかけていくことが大切である。

(石井委員)

私は既存住宅状況調査技術者を登録しているが、月1回程度の頻度で業務依頼を受けている。その依頼は、不動産会社からの紹介もあるが辞められた(更新しなかった)方からの紹介も多い。1度辞められた方は新規講習を受けなければいけない。更新講習までではないが何か更新期間切れの方が受けられる若干簡易な講習があれば良い。

(日高常務)

セミ更新制度などを国交省に働きかけてみる。

(小野田参与)

これまで、国交省住宅局、不動産関係部署、不動産関係団体と課題を共有しているが、お願いだけでなく、今後、既存住宅状況調査技術者の活用方法の提案をしたいので、何か具体的なアイデアがあったらお聞きしたい。

(古谷委員長)

機関誌「建築士」についての議論の場として、情報・広報委員会に出席した。連合会の機関誌は、年間の特集企画の半分が全国大会などの告知などルーティーンで、残り半分が企画記事である。このようなことから、告知はWEBで、企画は紙発行などのハイブリッドも考えられる。

(上原副委員長)

けんばいのメリットや、CPDなどの成功事例を載せるのも良い。

(古谷委員長)

「けんばい」などももっと範例や事故事例などを分かりやすく、出来る範囲で開示出来たら良い。穿った見方であるが、JIAは保険料が高く、建築士会は安いというが、ただ保険金が下りていないだけという憶測もある。そのような意味でも多くの事例を分かりやすく伝えることは、安心材料にもなり有効である。

(小野田参与)

先ほどの機関誌「建築士」の件で、いままで一方通行であったが、今後は、どのような記事が良かったか、またどのような企画を希望するかなどの読者アンケートを実施し、双方向のやり取りをしていく。

(古谷委員長)

是非お願いします。アンケートはQRコードでお願いします。

(小野田参与)

QRコードで検討している。

(上原副委員長)

勤務建築士「けんばい」の事例ももっと告知するべき。

(風晴委員)

以前、日事連の「けんばい」に入っていた方から勤務建築士「けんばい」の問い合わせがあった。

(助川委員)

新しい「けんばい」のバナーを早速HPで使用している。茨城士会では勤務建築士「けんばい」の普及に力を入れており、全国で1位の加入数になった。

議題3 5月の理事会での報告を予定している「とりまとめ(構成案)」について(資料3、参考資料)

小野田参与より、議題3にいての説明があった。

<各意見>

(古谷委員長)

(とりまとめについては)是非やってみようと元気が出るような紙面を希望する。

(吉田委員)

鹿児島士会でも、財政健全化対策の委員会が立ち上がる。このTFがきっかけであり、良い参考になっている。この資料を連合青年委員会でも共有して青年達で会を盛り上げていく必要がある。

(石貫委員)

会員もそうだが、建築士を増やす取り組みも大切である。今日聞いた連合会のインセンティブ制度も知らなかったので、今後取り組んでみたい。

(助川委員)

茨城ではインセンティブ制度で5万円程いただいている。欲を言えば0が一つ足りない。

(石川委員)

(会員が減らない理由を確認されて)公共工事の経営審査事項として「建築関係コンサルタント名簿(総合評価点順位)」を定めており、建築士会の会員が建築士事務所に所属している場合は加点(1名1点)されるのが大きいと思う。幸いに令和7、8年度も継続が決まった。建築関係コンサルタント名簿は、制度として平成29年から始まっており、そのおかげで会費の滞納者が減り、会費も事務所が一括して支払うケースが増えた。そのような事で会員数が増えたが、最近では琉球銀行での口座振込の無料措置が無くなり、口座振替を会員にお願いしているが、今年においては35名の会員の退会があり、沖縄士会も会員数の減少が見られる。

議題4 今後のスケジュール等について(再掲)(資料4)

小野田参与より、議題4についての説明があった。

(古谷委員長)

当面進捗がない事項があるかもしれないが、フォローアップのために、3か月に1回程度、頻度高く開催していくべきである。

次回の開催は、令和7年5月12日(月)15:00~17:00(対面・WEB併用開催)となった。

以上

各種講習会についての検討状況と今後の予定(案)

■委員会での検討

○第4回教育・事業本委員会(令和7年2月20日(木)10:00~12:00)

第2回財政・健全化TF(令和7年2月4日(火)10:00~12:00)で使用した資料(添付資料参照)に基づき説明、以降の具体的な検討を教育・事業本委員会で行う事について了解を得た。

■今後の予定(案)

・上記の委員会での議論、連合会に対する意見等を踏まえ、教育・事業本委員会において、以下の検討を進めていく。

○共通:受講者増に関する検討

(既存住宅状況調査技術者講習)

- ・省エネ部位ラベル(既存住宅を対象とした省エネ性能に資する部位を表示できる制度)との連携
- ・非住宅を対象とした状況調査・保険等を実施している検査会社との連携
- ・住宅金融支援機構の融資制度を利用する前提での既存住宅状況調査技術者の活用
- ・各士会が行政団体を訪問して既存住宅状況調査技術者を活用した助成制度等の創設を依頼するチラシ等の作成

(監理技術者講習)

- ・各士会が建設会社や団体等を訪問して受講者勧誘用に使用するチラシ等の作成

○監理技術者講習

- ・印刷製本費について、複数業者による相見積もりを実施。
 - ・テキストについて、毎年刷新→隔年刷新に変更(法改正等により説明が必要な部分のみ別刷り)。
 - ・各士会が建設会社や団体等を訪問して受講者勧誘用に使用するチラシ等の作成(再掲)。
 - ・講習会のオンライン化の実施
- ※複数の士会から対面講習の実施が会議室借上料等の点から困難という意見あり。オンラインとなっても既存住宅状況調査技術者講習と同様に委託費は士会に支払う事を予定。

○既存住宅状況調査技術者講習

- ・印刷製本費について、複数業者による相見積もりを実施。
- ・システム費用について、住所確認で500円/1件、写真の加工で500円/1件について引き下げられないかシステム開発会社と交渉。

以上

「けんばい」についての検討状況と今後の予定(案)

■委員会での検討

○第4回業務保険委員会(令和7年1月27日(月)16:00~18:00)

既存の「けんばい」のチラシは、既に保険制度を知っている方向けの保険内容の詳細説明に特化した形式であるため、本保険制度を知らない・詳しくない方向けの導入になる「新チラシ」を作成することに向けての検討を行った。

■建築士会全国職員会議での報告

○令和6年度建築士会全国職員会議(令和7年2月21日(金)14:00~16:

00)全国の事務局職員が一同に会す上記全国会議にて、「けんばい」の有用性についてのご報告(第2回TF資料の抜粋を用い)及び委員会で検討した「新チラシ」ラフの確認と意見募集を行った。

■今後の予定(案)

○「新チラシ」について

「新チラシ」の構成が終わり、現在、東京海上日動の内部で社内審査中であり、今後4月中旬~下旬にかけてチラシ及びポスターを発行予定。

※発行後に全国の建築士会へ発送予定。

○全国職員研修の開催について

全国の建築士会において、職員入替などにより「けんばい」PRのためのノウハウが現職員に継承されていないケースがあり、今後保険会社の協力の元、全国の事務局職員を対象とした「けんばい」の勉強会・研修のWEB開催を予定している。

※「新チラシ」発行以降、5月の開催を目指す。

以上

機関誌「建築士」についての検討状況と今後の予定(案)

■委員会での検討等

○アンケートの実施(令和 7 年 1 月 24 日(金)～2 月 6 日(木))

・各建築士会に対して、士会独自の会誌発行の有無・頻度、機関誌「建築士」の発行頻度や WEB 化等についての希望を確認(添付資料参照)。

○情報・広報委員会での検討

・2 月 20 日の第 1 回委員会において、機関誌「建築士」について隔月化、WEB 化等の課題があることについてアンケート実施結果も含めて付議。

第 1 回情報・広報委員会(令和 7 年 2 月 20 日(木)13:30～15:30)

出席:古谷誠章会長、上原伸一担当副会長、山本勝義委員長、片山和俊委員、大石佳知委員(欠)、北尾靖雅委員、荻窪伸彦委員、山本道善委員

議題:

- (1) 令和 6・7 年度の情報・広報委員会について
- (2) 編集部会活動報告について
- (3) 情報部会活動報告について
- (4) 会誌「建築士」の改善について
 - ① 現状と課題(建築士会財政健全化検討タスクフォース)
 - ② アンケート調査結果
 - ③ 今後の対応について
- (5) 建築士会連合会の情報発信・広報の方針について
 - ① 現状と課題
 - ② 参考事例

・これまで情報・広報委員会は年に 1 回のみの実施であったが、委員会でさまざまな意見が出ており、令和 7 年度は頻度高く開催する事を確認。

■今後の予定(案)

・上記のアンケート、議論を踏まえ、情報・広報委員会において、以下の検討を進めていく。

○機関誌「建築士」における隔月化、WEB 化については、連合会・各士会ともメリット・デメリットがあり、導入するにしても、士会毎の紙と WEB の選択や、即時性のある情報のみの WEB 発信などさまざまなパターンが考えられるので、引き続き導入に向けて検証していく。

○なお、印刷業者選定等の相見積もり、広告収入増強については、すぐに取り組を進めていく。

○士会連合会の情報発信・広報の観点から、誰にどのような情報を伝えていくかが重要で、そのために、機関誌「建築士」だけでなく、ホームページ、SNS などのツールをどのように活用していくのかも検討していく。

以上

《令和7年度 各委員会事業計画》

〈総務・企画委員会〉

■委員会の開催

①第1回委員会 令和7年5月7日(水)午後3時～

〈協議事項〉

- ・会員増強運動の取組状況について
- ・令和6年度の事業報告・収支決算報告について
- ・令和7年度事業計画(案)・収支予算(案)について
- ・理事・監事後任者の選任・会費の値上げについて

■令和7年度事業計画

①令和6年度会計監査

令和7年4月30日(水)午前10時30分から「建築会館2階会議室」

②令和7年度(74回)通常総会の開催

令和7年5月30日(金)午後3時から「ホテルレイクビュー水戸」

③第12回大納涼会(協会合同)の開催(事務所協会が担当)

令和7年7月11日(金)午後5時から「ホテル・テラスザガーデン水戸」

④建築士会全国大会「おおさか大会」への参加

令和7年9月19日(金) 大阪市「グランキューブ大阪」ほか

⑤建設フェスタ2025への参加

令和7年10月4日(土) ひたちなか市「笠松運動公園」

⑥第21回新春賀詞交歓会の開催

令和8年1月30日(金)午後4時から「ホテルレイクビュー水戸」

⑦支部事務局連絡会議の開催

令和8年2月19日(木) 県内の観光地を予定

〈研修委員会〉

■令和7年度事業計画

①建築士試験の実施

- ・二級建築士 学科 令和7年7月6日(日) 製図 令和7年9月14日(日)
- ・一級建築士/木造 学科 令和7年7月27日(日) 製図 令和7年10月12日(日)

②監理技術者講習の実施

令和7年10月21日(火) 市町村会館等

③定期講習の実施

第1回 令和7年6月10日(火) 開発公社ビル

第2回 令和7年8月21日(木) 研修センター

第3回 令和7年9月11日(木) 研修センター

④既存住宅状況調査技術者養成講習の実施

〈新規〉 オンライン講習 令和7年5月～10月 計4回

〈更新〉 オンライン講習 令和7年5月～10月 計11回

⑤建築士会技術講習会の実施

令和7年9月18日(木) 開発公社ビル

令和8年2月13日(金) 建設技術研修センター

⑥茨城県建築基準関係資料集とその解説等講習会

令和7年4月25日(金) 市町村会館 60名

〈会員委員会〉

■委員会の開催

①第1回委員会 令和7年6月3日(火)午後3時～

〈協議事項〉

- ・会員増強運動について
- ・令和7年度事業計画について
- ・チャリティゴルフ大会について

■令和7年度事業計画

①会員増強活動の推進

建築士事務所協会名簿などを活用し入会促進活動を実施する

②第33回チャリティゴルフ大会の開催

令和7年6月25日(水) 富士カントリー笠間倶楽部

③第15回ボウリング大会の開催

令和7年8月24日(土) 大学ボウル 水戸店

④第32回日帰り見学会の開催

令和7年11月3日(月)文化の日 行き先:関東甲信越圏内を予定

⑤第26回会員美術展の開催

令和7年4月16日(水)～20日(日) 水戸市民会館

〈情報・広報委員会〉

■委員会の開催

①第1回委員会 令和7年4月22日(火)午後3時～

〈協議事項〉

- ・会報「けんちく茨城」No. 115号の感想、意見
- ・会報「けんちく茨城」No. 116号の発刊と編集方針について
- ・建築士会Webサイト、および、Facebookについて
- ・会員増強運動について

■令和7年度事業計画

①会報誌No. 116号～No. 118号の発刊(年3回発刊)

②士会ホームページ and フェイスブックの更新

③応急危険度判定士養成講習会の開催

令和7年10月1日(水) 県庁9階 講堂

判定士模擬訓練なども例年どおり実施する

④木造住宅耐震診断士講習会の開催

令和7年8月上旬 開発公社等(予定)

⑤木造住宅の耐震リフォーム達人塾の開催

令和7年11月20日(木)の計画

〈まちづくり委員会〉

■令和7年度事業計画

令和7年度も引き続き、つくば市周辺地域を対象としたまちづくり活動を検討。

まちづくりプラン「川辺のまちづくり」

茨城県には久慈川、那珂川、鬼怒川、小貝川、利根川などの多くの一級河川、それらに流れるさらに多くの2級河川が存在する。その一方で、歴史的には住民の生活と深く結びついていた川辺環境は年々変化し、住民生活とはどんどん無縁の関係になっているように感じられる。それは河川が持つ可能性を無駄にしているようで、非常にもったいないことに思える。

テーマ1.

「河川環境の把握」

県内にあるさまざまな河川を対象にそれぞれの川辺の歴史、環境を視察・街歩きし、分析する。

- ・社会的環境
- ・自然環境

テーマ2.

「新しい時代の川辺空間」

観察の結果をもとに、今日の川辺空間の役割と川辺空間を活かしたまちづくりのあり方を模索する。

〈青年委員会〉

■委員会の開催

①第1回委員会 令和7年4月27日(日) Zoomによるオンライン会議

〈協議事項〉

- ・関プロ東京大会について
- ・50周年記念事業について
- ・今年の事業について

■令和7年度事業計画

① 関プロ青年協議会「東京大会」:八王子市 大学セミナーハウス

令和7年5月10日(土)～11日(日)

② 東海子どもキャンパス

第1回 令和7年8月5日(火)

第2回 令和7年1月24日(土)

- ③ 牛久カッパ塾…未定
- ④ 一級製図課題施設見学会…令和7年8月実施を検討
- ⑤ 異業種交流会の実施…企画内容等は今後検討する
- ⑥ 50周年記念事業

令和7年11月15日(土) 水戸市民会館、ウエストヒルズ水戸

- ⑦ その他として、下記の事業を計画する
 - ・建築セミナー、施設見学会、水戸・勝田マラソンへの参加、学生の設計展

〈女性委員会〉

■令和7年度事業計画

- ① 全国女性建築士連絡協議会「山形大会」への参加
 - 令和7年7月19日(日) 山形県
- ② 愛するイバラキの郷土料理で親睦会～そば打ち体験とけんちんじる作り～
 - 令和7年4月19日(土) 20名
- ③ ラブアークセミナー(県央・県北地域)の開催
 - 会員増強・女性会員のスキルアップを目的に年5～6回開催
 - 第1回 令和7年5月18日(土)「宮大工のしごと」28名
 - 第2回 令和7年7月5日(土)「新2号建築物詳細説明」講習会 6名
- ④ わくわくセミナー(県南・県西地域)の開催
 - 会員増強・女性会員のスキルアップを目的に年9～10回開催
 - 第1回 令和7年4月24日(木)「曳家」の魅力を知る 16名
 - 第2回 令和7年5月18日(日)「隈研吾建築物を巡る旅」12名
- ⑤ 見学会 or 講演会の開催を計画する
- ⑥ 女性会員向け情報誌(ILAL)の発行(年1回)

〈CPD委員会〉

■令和7年度事業計画

- ① 県・市町村における入札参加資格申請においてCPD制度が評価されることになったことを踏まえ、研修委員会と連携してCPD認定の講習会等を企画する。
- ② CPD登録会員向けの特典として、建築士会本部主催の研修・講習会・懇親会・セミナー等の当日に、CPDカードを持参し受付にご提示して頂いた方には参加費を500円割引する。

議案第1号

令和6年度事業報告

1. 会員の状況（正会員・準会員）

ブロック	区分 支部名	令和6年3月31日現在			令和7年3月31日現在			増減 B-A
		正会員	準会員	計 B	正会員	準会員	計 A	
県北 ブロック	北茨城	13		13	10		10	△3
	久慈	58	1	59	56	1	57	△2
	高萩	22		22	21		21	△1
	日立	85	3	88	79	2	81	△7
	ひたちなか	88	3	91	85	3	88	△3
県央 ブロック	鹿島	51		51	49		49	△2
	県央	328	2	330	315	4	319	△11
	県庁	108	4	112	103	4	107	△5
	J R 水戸	1		1	0		0	△1
	行方	47		47	46		46	△1
	鉾田	36		36	34		34	△2
県西 ブロック	古河さしま	51		51	49		49	△2
	桜川	42	4	46	39	5	44	△2
	下妻	36	3	39	36	3	39	0
	常総	42	1	43	40	1	41	△2
	筑西	81	1	82	76	2	78	△4
	坂東	29	1	30	29	1	30	0
	結城	35		35	33		33	△2
県南 ブロック	石岡	69		69	70		70	1
	稲敷	24		24	25		25	1
	北相馬	52		52	52		52	0
	筑波	144	1	145	144	2	146	1
	土浦	191	11	202	183	10	193	△9
	竜ヶ崎	38		38	36		36	0
	計	1,671	35	1,706	1,610	38	1,648	△58

2. 賛助会の状況

賛助会員数	140	社	137	社	△3	社
-------	-----	---	-----	---	----	---

3. 役員の状況

職名	区分	R6年3月31日現在	異 動		R7年3月31日現在	備 考
			就 任	退 任		
会 長		1	-	-	1	
副 会 長		3	1	1	3	
専務理事		0	-	-	0	
常務理事		5	1	1	5	
理 事		21	9	10	20	
計		30	-	-	29	
監 事		4	-	-	4	
合 計		34	-	-	33	

4. 事務局職員の状況

職名	区分	R6年3月31日現在	異 動		R7年3月31日現在	備 考
			入 社	退 社		
事務局長		1	-	-	1	
職 員		3	-	-	3	
計		4	-	-	4	

※嘱託職員1名を含む

5. 主要会議等

会計監査

日 時 令和6年4月30日（火）午前10時30分から

場 所 建築会館2階会議室

概 要 令和5年度決算に係る関係諸帳簿及び証憑書類等についての監査

令和6年度（第73回）通常総会

日 時 令和6年5月31日（金）午後2時から

場 所 ホテルレイクビュー水戸 2階 飛天の間

議 案 ①令和5年度事業報告・決算報告について

②令和5年度会計監査報告

③令和6年度事業計画（案）・収支予算（案）について

④理事・監事の改選について

正副会長・常務理事会

日 時 理事会・支部長会合同会議前に開催（年4回）

場 所 茨城県市町村会館、茨城県開発公社ビル

議 題 理事会・支部長会合同会議の付議案件等について協議

□理事会・支部長会合同会議

第1回理事会・支部長会合同会議

- 日 時 令和6年5月17日（金）午後2時から
場 所 茨城県市町村会館 1階 講堂
議 題 ①報告事項（連合会・関プロ理事会、各委員会活動）
②令和5年度事業報告・決算報告について
③令和5年度会計監査報告について
④令和6年度事業計画（案）・収支予算（案）について
⑤理事・監事の改選について
⑥会員増強運動について（各自の取組み報告）
⑦その他

第2回理事会・支部長会合同会議

- 日 時 令和6年8月29日（木）午後2時から
場 所 茨城県市町村会館 1階 講堂
議 題 ①報告事項（連合会・関プロ理事会、各委員会活動）
②令和6年7月末仮決算について
③全国大会「鹿児島大会」について
④会費の値上げについて
⑤建築士会の主な事業予定について
⑥会員増強運動について（各自状況報告）
⑦その他

第3回理事会・支部長会合同会議

- 日 時 令和6年11月29日（金）午後2時から
場 所 茨城県開発公社ビル 4階 大会議室
議 題 ①報告事項（連合会・関プロ理事会、各委員会報告）
②令和6年10月末仮決算について
③会員増強運動について（各自の取組み状況）
④賀詞交歓会について
⑤会費の値上げについて
⑥令和6年度主な行事予定について
⑦その他

第4回理事会・支部長会合同会議

- 日 時 令和7年3月27日（木）午後2時から
場 所 茨城県市町村会館 1階 講堂
議 題 ①報告事項（関プロ理事会、各委員会活動）
②令和7年2月末仮決算・3月末決算見込みについて
③会費の値上げ案について
④令和7年度事業計画（案）・収支予算（案）について

⑤令和7年度通常総会（案）・役員改選等について

⑥主な事業日程（案）について

⑦会員増強運動について

⑧その他

□その他の会議等

(1) 令和6年度支部事務局連絡会議

日 時 令和7年2月20日（木）午後2時から

場 所 ホテルザウエストヒルズ水戸

議 題 ①各委員会の業務報告について

②全国大会「大阪大会」について

③支部別会費等の金額・納入方法等について

④建築士会の会費の値上げについて

⑤令和7年度主な事業日程（案）について

⑥会員のための事業等について（自由意見交換）

⑦質疑・意見交換

⑧その他

6. 委員会報告

(1) 総務・企画委員会

総務・企画委員会は、理事会・支部長会合同会議前に開催。四半期ごとの仮決算、理事会付議案件、所管事業の実施等について協議・検討を行っている。

所管事業は、通常総会、大納涼会、新春賀詞交歓会、支部事務局連絡会議、全国大会、建設フェスタ、苗木配布事業等

□委員会の開催

第1回委員会 令和6年5月8日（水）市町村会館2階会議室

第2回委員会 令和6年8月20日（火）市町村会館2階会議室

第3回委員会 令和6年11月19日（火）市町村会館2階会議室

第4回委員会 令和6年12月16日（月）市町村会館2階会議室

第5回委員会 令和7年3月18日（火）市町村会館2階会議室

(2) 研修委員会

研修委員会は、建築士試験、法定講習のほか、連合会と連携した講習会、本会主催の研修・講習会の企画・運営等について協議・検討を行っている。

所管事業は、建築士試験、定期講習、建築士会技術講習会、監理技術者講習、既存住宅状況調査技術者講習、建築パトロールほか、本会主催の研修・講習会、建築士免許申請の一斉受付等

□委員会の開催

第1回委員会 令和6年10月9日（水）市町村会館2階会議室

第2回委員会 令和7年1月16日（木）市町村会館2階会議室

(3) 会員委員会

会員委員会は、会員増強に関する活動、会員名簿の作成、各種親睦事業、会員美術展の企画・運営等について協議・検討を行っている。

所管事業は、会員増強活動の他、チャリティゴルフ大会、ボウリング大会、日帰り見学会、会員美術展、会員名簿の作成等

□委員会の開催

第1回委員会 令和6年6月11日（火） 市町村会館2階会議室

第2回委員会 令和7年3月12日（水） 市町村会館2階会議室

(4) 情報・広報委員会

情報・広報委員会は、会報誌「けんちく茨城」の発刊、情報発信としてのホームページの更新のほか応急危険度判定士、木造住宅耐震診断士に関する事業の企画・運営等の協議・検討を行っている。

所管事業は、会報誌「けんちく茨城」の発刊（年3回）、ホームページの更新、応急危険度判定連絡訓練、応急記念度判定模擬訓練、応急危険度判定士養成講習会、木造住宅耐震診断士養成講習会等

□委員会の開催

第1回委員会 令和6年4月15日（月） 市町村会館2階会議室

第2回委員会 令和6年8月21日（水） 市町村会館2階会議室

第3回委員会 令和6年12月13日（金） 市町村会館2階会議室

(5) まちづくり委員会

まちづくり委員会は、まちづくり事業、地域貢献活動の推進に関する事業について協議・検討を行っている。所管事業は、街並み体感ツアー、常陸国のむかしの家ガイドマップの作成、まちづくり事業、全国まちづくり会議への参加、まち歩き等

□委員会の開催

第1回委員会 令和6年7月10日（水） 市町村会館2階会議室

第2回委員会 令和6年10月23日（水） 市町村会館2階会議室

第3回委員会 令和6年11月25日（月） 市町村会館2階会議室

(6) CPD委員会

CPD委員会は、CPD制度の普及・促進、CPD単位のカリキュラムの認定に関すること及び専攻建築士申請の進達等について協議・検討を行っている。

所管事業は、CPD会員の登録・更新、CPD制度の普及・促進に関する事業及び専攻建築士申請の進達等

□委員会の開催

第1回委員会 令和7年2月19日（水） 市町村会館2階会議室

(7) 青年女性委員会

〈青年委員会〉

青年委員会は、若手建築士の会員拡大、他団体青年部との交流、若手建築士の技術の研鑽や親睦事業等について協議・検討を行っている。所管事業は、関プロ青年協議会大会への参加、施設等見学会、一級建築士製図課題施設見学会、とうかい子どもキャンパス、牛久カップ塾、ソフトボール大会

□委員会の開催

- 第1回委員会 令和6年4月13日(土) オンライン会議 (Zoom)
- 第2回委員会 令和6年7月13日(土) オンライン会議 (Zoom)
- 第3回委員会 令和6年10月5日(土) オンライン会議 (Zoom)
- 第4回委員会 令和7年3月15日(土) オンライン会議 (Zoom)

〈女性委員会〉

女性委員会は、女性建築士の会員拡大、女性会員相互の技術の研鑽、親睦事業等について協議・検討を行っている。所管事業は、全国女性建築士連絡協議会への参加、地域ブロック別セミナーの開催、親睦事業、女性会員向け情報誌 (I L A L ネットワーク) の発刊等

□委員会の開催

- 第1回委員会 令和6年11月7日(木) 開発公社ビル5階会議室

(8) 賛助会

賛助会は、賛助会員として、士会の事業の遂行に協力し、かつ、賛助会員相互の業務の発展と親睦を図ることを目的として活動し、建設フェスタ等へのイベント参画等

□会議の開催

- 第1回幹事会 令和6年7月17日(水) アダストリアみとアリーナ2階会議室
- 第1回全体会議 令和6年7月17日(水) アダストリアみとアリーナ2階会議室

(1)士会事業への参加

事業名等	開催日	会場等	参加者総数
第73回通常総会	06.5.31	ホテルレイクビュー水戸	72名
第32回チャリティゴルフ大会	06.7.4	富士カントリー笠間	20名
大納涼会	06.7.12	ホテルテラスザガーデン	51名
第20回新春賀詞交歓会	07.1.30	ホテルレイクビュー水戸	78名

延べ221名

(2)広告・同封利用協力等

協力事業名	時期	概要	協賛社数(延べ)
同封サービス利用	6年度	建築士会発送	23社
会報誌広告	7月/10月/3月	建築士会発行	40社
バナー広告	1年間	建築士会HP	4社
封筒広告	1年間	建築士会封筒	1社

延べ70社

7. 事業

(1)諸事業

開催日	事業名	開催場所	事業概要
06. 5.31	第73回 令和6年度通常総会	ホテルレイクビュー水戸	総会出席者（委任状含）567名
06. 7. 4	第32回 チャリティゴルフ大会	富士カントリー笠間	参加者 115名 児童養護施設「臨海学園」（高萩市） にチャリティ金10万円を寄贈
06. 7月 07. 1月	建築パトロール	19支部（35市町村）	第1回点検数 924件 第2回点検数 984件
06. 7.12	大納涼会（事務所協会合同）	ホテルテラスザガーデン	参加者 182名（来賓を含む）
06. 8. 9	木造住宅耐震診断士養成講習会	市町村会館	受講者 107名
06. 8.24	第14回ボウリング大会	大学ボウル水戸店	参加者 54名
06. 9.20	応急危険度判定士養成講習会	茨城県庁	受講者 89名（更新者は受講免除）
06.11. 2	第31回日帰り見学会	江戸東京たてもの園、東 京競馬場 JRA	参加者 60名
06.12. 4	木造住宅耐震診断士養成講習会	つくば市役所コミュニティ棟	受講者 25名
06.12. 8	ワークショップ「つくばみらい 市結城三百石を考える」	結城三百石記念館、みら い平コミュニティセンター	参加者 34名
07. 1.30	第20回新春賀詞交歓会	ホテルレイクビュー水戸	参加者 238名（来賓を含む）
07. 2.20	支部事務局連絡会議	ホテルザウエストヒルズ 水戸	出席者 37名
07. 3.21	木造住宅リフォーム達人塾	水戸合同庁舎	参加者 70名
06年度	緑化推進・苗木配布事業	本部・支部	配布本数 1,930本
06年度	木造住宅耐震診断事業	34市町村	診断件数 235件
06.12.18 ～ 3.31	建築士免許申請新規受付	建築会館	申請： 92名/117名（合格者）

(2)青年女性委員会事業

06年度	ラブアークセミナー	水戸市内ほか	6回開催（県央・県北地域等女性会員）
06年度	わくわくセミナー	土浦市内ほか	9回開催（県南・県西・鹿行等女性会員）
06.9.7	ソフトボール大会	水戸市東野運動場	優勝：県庁支部 2位：県央支部 3位：土浦支部 4位：筑波支部
06.8.31	一級製図課題施設見学会	日立市	参加者：25名

(3)連合会・関ブロ大会への参加

開催日	事業名	開催場所	事業概要
06.6.22	関ブロ青年協議会 「東京大会」	千葉県千葉市 「TKP ガーデンシティ千葉」	参加人数 21名
06.7.29	全国女性建築士連絡協議会 「東京大会」	東京都港区 「日本建築学会建築会館」	参加人数 8名
06.10.25	第66回建築士会全国大会 「鹿児島大会」	鹿児島県鹿児島市 「宝山ホール」	参加人数 56名

延べ85名

(4)講習会・研修会

開催日	講習会・研修会名	開催会場	受講者数
06.6.14	定期講習（第1回）	開発公社4階会議室	67名
06.8.8	定期講習（第2回）	開発公社1階会議室	33名
06.9.10	定期講習（第3回）	開発公社4階会議室	46名
06.10.4	建築士会技術講習会（第1回）	茨城県建設技術研修センター	90名
06.11.12	監理技術者講習	開発公社5階会議室	9名
07.2.14	建築士会技術講習会（第2回）	茨城県建設技術研修センター	55名
07.3.14	改正建築物省エネ法建築基準法講習	市町村会館1階会議室	97名
06年度	既存住宅状況調査技術者講習	オンライン講習（延べ20回）	34名

延べ431名

(5)建築士試験関係

実施日	業務名	会場	概要
06. 4. 1 ～ 15	2級・木造建築士受験受付	ネット申込み	R3から原則ネット申込
	1級建築士受験受付	ネット申込み	R3から原則ネット申込
06. 7. 7	2級建築士学科試験	水戸啓明高等学校	受験者数 328名
06. 7.28	1級・木造建築士学科試験	水戸工業高等学校	受験者数 1級 412名 木造 4名
06. 8.26	2級・木造建築士学科合格発表	建築技術教育普及センター 茨城県庁 茨城県建築士会	2級学科合格者数 128名 木造学科合格者数 0名
06. 9. 4	1級建築士学科合格発表		1級学科合格者数 97名
06. 9.15	2級建築士製図試験	水戸啓明高等学校	受験者数 180名
06.10.13	1級建築士製図試験	水戸工業高等学校	受験者数 131名
06.12. 5	2級建築士最終合格発表	建築技術教育普及センター 茨城県庁 茨城県建築士会	2級建築士合格者数 88名 木造建築士合格者数 0名
06.12.25	1級建築士最終合格発表		1級建築士合格者数 29名

令和6年度委員会活動以外の事業報告

■ヘリマネいばらき協議会

県内の歴史・風土・文化を尊重し、祖先から継承された貴重な文化遺産を守るため、住民、行政及び職能団体などと技術・情報・活動のネットワークを構築し、歴史的建造物として文化的価値のある建物の発見・発掘並びに保全・活用を図るための事業を行う組織

設立日：平成27年8月9日（現会員数：65名）

1. 令和6年度総会 令和6年9月1日開催（委任状とあわせて52名出席）
2. 総会終了後 「ステップアップセミナー」
 - (1) 文化財の改修工事等について実績報告
3. メールマガジンの配信による情報共有視聴及びオンライン等参加（各自）
 - (1) 令和6年8月22日 文化財登録制度9府県（新聞記事）の情報共有
 - (2) 令和6年11月24日 現場見学会（海雲山慈眼院高蔵寺）のご案内

■市町村の空き家対策支援事業

年々増加する空き家対策として市町村が設置する「空き家等対策協議会」に支部と連携して会員を派遣。また、空き家所有者等を対象として市町村が行う「空き家等相談会」に関連団体とともに支部と連携して相談員を派遣

- (1) 市町村が設置する「空き家対策等協議会」への会員派遣
令和6年度までに39市町村派遣済
- (2) 特定空き家等判定基礎調査
常総市、石岡市、つくばみらい市、下妻市、行方市から特定空き家等に関する基礎調査、空き家バンク登録補助業務等を受託（各管轄支部で対応）
- (3) 市町村が実施する空き家等相談会への会員派遣
令和6年度 6市町村で延べ15回、13名で49件相談有り

議案第2号

収支計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

I 事業活動収支の部

1. 事業活動収入

(単位：円)

大科目	中科目	小科目	本年度 予算額 (A)	本年度 決算額 (B)	差 額 (A - B)
入会金収入	入会金収入	入会金収入	50,000	20,000	30,000
会費収入	会費収入		25,782,000	24,571,700	1,210,300
		正会員会費収入	21,000,000	19,913,000	1,087,000
		準会員会費収入	432,000	398,700	33,300
		賛助会員会費収入	4,350,000	4,260,000	90,000
事業収入			42,142,800	51,060,605	△ 8,917,805
	講習会収入		5,710,000	3,504,604	2,205,396
		法定定期講習会収入	1,220,000	1,009,054	210,946
		指定講習会収入	2,700,000	1,875,000	825,000
		研修講習会収入	1,790,000	620,550	1,169,450
	図書等頒布収入		2,760,000	2,187,594	572,406
		出版図書収入	1,400,000	874,500	525,500
		用紙等頒布収入	10,000	0	10,000
		斡旋図書収入	1,300,000	1,259,194	40,806
		表示板頒布収入	50,000	53,900	△ 3,900
	事業受託収入		23,264,000	36,910,867	△ 13,646,867
		試験受託収入	3,500,000	3,577,200	△ 77,200
		調査受託収入	3,278,000	3,498,000	△ 220,000
		判定士認定業務受託収入	3,080,000	3,201,000	△ 121,000
		事務受託収入	1,040,000	3,106,877	△ 2,066,877
		耐震診断派遣業務受託収入	12,366,000	23,527,790	△ 11,161,790
	手数料収入		2,735,000	2,223,660	511,340
		二級・木造建築士事務手数料収入	2,735,000	2,223,660	511,340
	委員会等事業収入		7,673,800	6,233,880	1,439,920
		事業収入	7,673,800	6,233,880	1,439,920
補助金等収入	事業助成金収入		200,000	250,000	△ 50,000
		連合会助成金収入	200,000	250,000	△ 50,000
雑収入			9,060,000	9,450,338	△ 390,338
	受取利息収入		0	3,412	△ 3,412
	雑収入		9,060,000	9,446,926	△ 386,926
		資料発送支部負担金収入	3,300,000	3,381,916	△ 81,916
		広告・協賛金収入	5,260,000	5,218,000	42,000
		雑収入	500,000	847,010	△ 347,010
事業活動収入計			77,234,800	85,352,643	△ 8,117,843

2. 事業活動支出

(単位：円)

大科目	中科目	小科目	本年度 予算額 (A)	本年度 決算額 (B)	差 額 (A - B)
事業費支出			32,300,000	38,016,473	△ 5,716,473
	講習会費支出		2,306,000	1,663,953	642,047
		法定定期講習会費支出	490,000	324,508	165,492
		指定講習会費支出	1,310,000	1,192,119	117,881
		研修講習会費支出	506,000	147,326	358,674
	けんちく茨城 印刷費支出		1,000,000	977,492	22,508
	情報通信普及 推進費支出		330,000	272,800	57,200
	C P D 制 推進費支出		393,000	124,000	269,000
	委託事業 費支出		14,444,000	24,509,761	△ 10,065,761
		調査業務実施費支出	2,664,000	3,021,170	△ 357,170
		応急危険度判定士 認定業務費支出	880,000	661,159	218,841
		試験業務実施費支出	580,000	471,946	108,054
		事務受託支出	745,000	1,136,529	△ 391,529
		耐震診断派遣業 務委託費支出	9,575,000	19,218,957	△ 9,643,957
	普及宣伝費支出		1,150,000	574,246	575,754
		対社会の事業費支出	450,000	229,473	220,527
		会員増強促進費支出	300,000	93,773	206,227
		広報費支出	400,000	251,000	149,000
	研修費支出		4,320,000	4,610,376	△ 290,376
		研修費支出	650,000	703,674	△ 53,674
		親睦事業費支出	3,670,000	3,906,702	△ 236,702
	委員会費支出		1,200,000	746,990	453,010
	青年女性委員会 費支出		1,867,000	1,144,969	722,031
	助成金支出		850,000	436,000	414,000
	賛助会活動費 支出		200,000	209,582	△ 9,582
	まちづくり 活動費支出		390,000	6,300	383,700
	出版事業費支出		1,850,000	1,368,798	481,202
		図書製本費支出	600,000	365,310	234,690
		法令用紙作成費支出	0	0	0
		斡旋図書仕入費支出	1,200,000	964,768	235,232
		表示板仕入費支出	50,000	38,720	11,280
	地域貢献活動費 支出	地域貢献活動費 支出	2,000,000	1,371,206	628,794
管理費支出			49,358,000	47,258,280	2,099,720
	給料手当支出		19,600,000	19,451,071	148,929
		給料支出	13,900,000	13,828,270	71,730
		手当支出	5,700,000	5,622,801	77,199
	中退金掛金支出		648,000	600,740	47,260
	福利厚生費支出		3,600,000	3,467,520	132,480

大科目	中科目	小科目	本年度 予算額 (A)	本年度 決算額 (B)	差 額 (A - B)
	会 議 費 支 出		3,380,000	3,008,061	371,939
		総 会 費 支 出	2,200,000	2,161,482	38,518
		理 事 会 費 支 出	680,000	681,671	△ 1,671
		諸 会 議 費 支 出	500,000	164,908	335,092
	会 計 報 酬 支 出		270,000	264,000	6,000
	租 税 公 課 費 支 出		1,900,000	1,793,000	107,000
	負 担 金 支 出		6,800,000	6,499,151	300,849
		連 合 会 費 支 出	6,160,000	5,852,200	307,800
		関プロ会費支出	400,000	388,751	11,249
		団 体 会 費 支 出	240,000	258,200	△ 18,200
	旅 費 交 通 費 支 出		500,000	463,699	36,301
	通 信 運 搬 費 支 出		2,900,000	2,696,683	203,317
	什 器 備 品 費 支 出		150,000	0	150,000
	消 耗 品 費 支 出		950,000	753,185	196,815
	印 刷 製 本 費 支 出		2,010,000	1,784,530	225,470
	慶 弔 費 支 出		2,000,000	1,848,155	151,845
	家 賃 支 出		1,100,000	1,097,658	2,342
	事 務 所 共 益 費 支 出		820,000	821,238	△ 1,238
	機 械 借 損 費 支 出		2,250,000	2,263,841	△ 13,841
	雑 支 出		480,000	445,748	34,252
予備費支出	予 備 費 支 出		1,523,894	0	1,523,894
	事業活動支出計		83,181,894	85,274,753	△ 2,092,859
	事業活動収支差額		△ 5,947,094	77,890	△ 6,024,984

II 投資活動収支の部

(1)投資活動収入

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差 異
特定資産取崩収入	積立預金収入		4,000,000	4,000,000	0
		運 営 資 金 積 立 資 金 取 崩 収 入	4,000,000	4,000,000	0
		80 周 年 積 立 資 金 取 崩 収 入	0	0	0
		関プロ茨城大会積立資金 取 崩 収 入	0	0	0
	投資活動収入計		4,000,000	4,000,000	0

(2)投資活動支出

特定資産取得支出	積立預金取得支出		500,000	500,000	0
		運 営 資 金 積 立 預 金 取 得 支 出	0	0	0
		80 周 年 積 立 預 金 取 得 支 出	500,000	500,000	0
		関プロ茨城積立預金 取 得 支 出	0	0	0
		災 害 積 立 金 支 出	0	0	0
固定資産取得支出	什器備品購入支出		0	0	0
		什器備品購入支出	0	0	0
	投資活動支出計		500,000	500,000	0
	投資活動収支差額		3,500,000	3,500,000	0

Ⅲ 財務活動収支の部

大科目	予算額	決算額	差異
財務活動収入	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0
財務活動支出	0	0	0
財務活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	△ 2,447,094	3,577,890	△ 6,024,984
前期繰越収支差額	2,447,094	2,447,094	0
次期繰越収支差額	0	6,024,984	△ 6,024,984

収支計算書に対する注記

1. 次期繰越収支差額の内容

次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金	176,940	135,410
預金	3,557,533	5,741,662
未収金	3,494,483	11,247,986
仮払金	0	108,000
立替金	0	0
(合計)	7,228,956	17,233,058
未払金	3,623,264	10,912,707
前受金	812,000	224,800
預り金	346,598	70,567
(合計)	4,781,862	11,208,074
次期繰越収支差額	2,447,094	6,024,984

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取入会金	20,000	80,000	△ 60,000
受取入会金	20,000	80,000	△ 60,000
② 受取会費	24,571,700	25,394,500	△ 822,800
正会員受取会費	19,913,000	20,713,000	△ 800,000
準会員受取会費	398,700	391,500	7,200
賛助会員受取会費	4,260,000	4,290,000	△ 30,000
③ 事業収益	51,060,605	38,444,486	12,616,119
講習会収益	3,504,604	5,315,770	△ 1,811,166
図書等領布収益	2,187,594	3,641,803	△ 1,454,209
事業受託収益	36,910,867	22,089,546	14,821,321
手数料収益	2,223,660	2,142,300	81,360
委員会部会等事業収益	6,233,880	5,255,067	978,813
④ 受取補助金等	250,000	200,000	50,000
受取事業助成金	250,000	200,000	50,000
⑤ 雑収益	9,450,338	7,388,143	2,062,195
受取利息	3,412	268	3,144
雑収益	9,446,926	7,387,875	2,059,051
経常収益計	85,352,643	71,507,129	13,845,514
(2) 経常費用			
① 事業費			
事業経費	37,998,812	30,023,417	7,975,395
旅費交通費	1,552,027	1,516,822	35,205
通信運搬費	956,786	1,109,324	△ 152,538
消耗品費	439,366	308,966	130,400
印刷製本費	1,844,486	1,940,895	△ 96,409
賃借料	564,930	1,120,618	△ 555,688
保険料	41,685	9,926	31,759
諸謝金	897,478	1,119,744	△ 222,266
支払負担金	193,450	382,075	△ 188,625
支払助成金	1,069,240	1,342,670	△ 273,430
支払寄付金	1,458,690	2,120,502	△ 661,812
委託費	21,838,997	11,461,143	10,377,854
図書仕入費	1,805,911	2,512,505	△ 706,594
棚卸資産増減額	△ 17,661	36,498	△ 54,159

科 目	当年度	前年度	増 減
諸会費	4,774,929	4,603,174	171,755
交際費	198,433	0	198,433
広告宣伝費	251,000	346,500	△ 95,500
雑 費	129,065	92,055	37,010
事業費計	37,998,812	30,023,417	7,975,395
② 管理費			
給料手当	19,451,071	18,845,601	605,470
福利厚生費	3,467,520	3,332,615	134,905
中退金掛金	600,740	564,000	36,740
総会費	2,161,482	3,117,966	△ 956,484
理事会費	681,671	608,149	73,522
諸会議費	164,908	314,358	△ 149,450
連合会費	5,852,200	6,077,240	△ 225,040
関プロ会費	388,751	390,384	△ 1,633
団体会費	258,200	219,200	39,000
会計報酬	264,000	264,000	0
租税公課	1,793,000	1,850,000	△ 57,000
旅費交通費	463,699	405,450	58,249
通信運搬費	2,696,683	2,701,298	△ 4,615
消耗品費	753,185	916,823	△ 163,638
印刷製本費	1,784,530	432,520	1,352,010
機械借損費	2,263,841	2,218,978	44,863
慶弔費	1,848,155	2,219,955	△ 371,800
家 賃	1,097,658	1,097,658	0
事務所共益費	821,238	821,238	0
雑 費	445,748	371,487	74,261
管理費計	47,258,280	46,768,920	489,360
経常費用計	85,257,092	76,792,337	8,464,755
評価損益等調整前当期経常増減額	95,551	△ 5,285,208	5,380,759
③ 特定資産評価益	4,000,000	2,000,000	2,000,000
特定資産積立資産評価益	4,000,000	2,000,000	2,000,000
④ 特定資産評価損	500,000	524,435	△ 24,435
特定資産積立預金繰入額	500,000	524,435	△ 24,435
特定資産評価損益等	3,500,000	1,475,565	2,024,435
評価損益等計	3,500,000	1,475,565	2,024,435
当期経常増減額	3,595,551	△ 3,809,643	7,405,194
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0

科 目	当年度	前年度	増 減
当期经常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	3,595,551	△ 3,809,643	7,405,194
当期一般正味財産増減額	3,595,551	△ 3,809,643	7,405,194
一般正味財産期首残高	2,693,667	6,503,310	△ 3,809,643
一般正味財産期末残高	6,289,218	2,693,667	3,595,551
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	6,289,218	2,693,667	3,595,551

貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	135,410	176,940	△ 41,530
普通預金	5,741,662	3,557,533	2,184,129
未収金	11,247,986	3,494,483	7,753,503
棚卸資産	223,948	206,287	17,661
仮払金	108,000	0	108,000
流動資産合計	17,457,006	7,435,243	10,021,763
2 固定資産			
(1)特定資産			
その他積立預金	33,424,435	36,924,435	△ 3,500,000
特定資産合計	33,424,435	36,924,435	△ 3,500,000
(2)その他固定資産			
什器備品	2	2	0
保証金	40,284	40,284	0
その他固定資産合計	40,286	40,286	0
固定資産合計	33,464,721	36,964,721	△ 3,500,000
資産合計	50,921,727	44,399,964	6,521,763
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	10,912,707	3,623,264	7,289,443
前受金	224,800	812,000	△ 587,200
預り金	70,567	346,598	△ 276,031
流動負債合計	11,208,074	4,781,862	6,426,212
2 固定負債			
運営資金引当金	24,300,000	28,300,000	△ 4,000,000
80周年資金引当金	1,624,435	1,124,435	500,000
関プロ茨城引当金	2,500,000	2,500,000	0
災害積立引当金	5,000,000	5,000,000	0
固定負債合計	33,424,435	36,924,435	△ 3,500,000
負債合計	44,632,509	41,706,297	2,926,212
III 正味財産の部			
1 一般正味財産	6,289,218	2,693,667	3,595,551
正味財産合計	6,289,218	2,693,667	3,595,551
負債及び正味財産合計	50,921,727	44,399,964	6,521,763

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産については、最終仕入原価法による原価基準を採用している。

(2) 固定資産の減価償却方法 定率法によっている。

(3) 引当金の計上基準

- ・ 運営資金引当金 年予算額を計上している。
- ・ 80周年事業引当金 年予算額を計上している。
- ・ 関プロ茨城引当金 年予算額を計上している。
- ・ 災害積立引当金 年予算額を計上している。

(4) 資金の範囲について 現金預金、未収金、仮払金、立替金、未払金、前受金及び預り金を含めている。

(5) 消費税等の会計処理 税込方式によっている。

2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	242,909	242,907	2
合 計	242,909	242,907	2

3. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
運営資金積立預金	28,300,000	0	4,000,000	24,300,000
80周年積立預金	1,124,435	500,000	0	1,624,435
関プロ茨城積立預金	2,500,000	0	0	2,500,000
災害積立預金	5,000,000	0	0	5,000,000
合 計	36,924,435	500,000	4,000,000	33,424,435

4. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
特定資産				
運営資金積立預金	24,300,000			24,300,000
80周年積立預金	1,624,435			1,624,435
関プロ茨城積立預金	2,500,000			2,500,000
災害積立預金	5,000,000			5,000,000
合 計	33,424,435			33,424,435

財産目録

令和7年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	金 額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金・預金		
現金	135,410	
普通預金		
常陽銀行県庁支店	5,291,731	
常陽銀行本店	137,534	
東日本銀行	162,489	
関プロ茨城大会	149,908	
未収金	11,247,986	
棚卸資産	223,948	
仮払金	108,000	
流動資産合計		17,457,006
2 固定資産		
(1)特定資産		
その他積立預金		
運営資金積立預金	24,300,000	
80周年積立預金	1,624,435	
関プロ茨城積立預金	2,500,000	
災害積立預金	5,000,000	
特定資産合計	33,424,435	
(2)その他固定資産		
什器備品	2	
保証金	40,284	
その他固定資産合計	40,286	
固定資産合計		33,464,721
資産合計		50,921,727
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	10,912,707	
前受金	224,800	
預り金	70,567	
流動負債合計		11,208,074
2 固定負債		
運営資金引当金	24,300,000	
80周年資金引当金	1,624,435	
関プロ茨城引当金	2,500,000	
災害積立引当金	5,000,000	
固定負債合計		33,424,435
負債合計		44,632,509
正味財産		6,289,218

監査報告書

一般社団法人 茨城県建築士会
会長（代表理事） 柴 恭 殿

私たち監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告致します。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他の重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務の財産の状況を調査致しました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及び附属明細書について検討致しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及び附属明細書）について検討致しました。

2. 監査結果

（1） 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示していると認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重要な事実は認められません。

（2） 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示していると認めます。

令和7年4月30日

一般社団法人 茨城県建築士会

監事 大内 賢一



監事 小室 晶



監事 水口 二良



監事 小沼 紀男



公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告書

一般社団法人 茨城県建築士会
会長（代表理事） 柴 恭 殿

私たち監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの公益目的支出計画実施報告書に関して、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告致します。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において公益目的支出計画の実施状況を調査致しました。
以上の方法に基づき、当該事業年度に係る公益目的支出計画実施報告書について検討致しました。

2. 監査結果

公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施状況を正しく示していると認めます。

令和7年4月30日

一般社団法人 茨城県建築士会

監事 大内 賢一



監事 小室 晶



監事 水口 二良



監事 小沼 紀男



議案第3号

令和7年度事業計画（案）

□基本方針

二級建築士・木造建築士の登録事務を担う「茨城県指定登録機関」として、新たな建築士制度に対応して一級建築士の登録事務と併せ適切に遂行するとともに、その建築士制度の下、建築士の資質と品位の保持および技術の向上並びに建築文化の保全推進に寄与する。

また、建築行政、関係団体との協力体制の維持並びに地域貢献活動を実施し、一般社団法人として地域社会の健全な発展に一層寄与することを基本とする。

□事業内容

◇建築士の資質と品位の保持・向上に関する事業

1. 建築士法第22条第2項による「定期講習」の実施
2. 知事指定講習「建築士会技術講習会」の実施
3. 既存住宅状況調査技術者、監理技術者講習の実施
4. CPD制度及び専攻建築士制度の広報活動の実施
5. 建築士のスキルアップに関する研修・講習会の実施

◇建築士制度等に関する事業

1. 一級建築士及び二級・木造建築士登録事務の実施
2. 建築士試験業務の受託

◇会員の指導・連絡等に関する事業

1. 会員増強運動の推進
2. 会員相互並びに支部との情報共有の推進
3. 会報誌「けんちく茨城」の発刊
4. ホームページ、Eメール、SNS等の活用による情報共有の推進

◇地域貢献活動に関する事業

1. 市町村の空き家対策事業への協力
2. 既存住宅状況調査技術者の広報活動の推進
3. まちづくり事業及び地域貢献活動の実施
4. 緑化推進事業（苗木配布）の推進

◇建築行政との連携に関する事業

1. 建築パトロールの実施
2. 応急危険度判定士の更新及び登録事務の実施
3. 災害発生時の支援体制の充実
4. 全国被災建築物応急危険度判定協議会への協力
5. 木造住宅耐震診断士派遣事業の実施
6. 行政機関及び関係団体との協力体制の推進

◇業務支援に関する事業

1. 建築確認申請・建築許可・都市計画法関係諸書式の領布
2. 建築士受験関係図書及び建築関係書籍の販売

◇連合会等との連携に関する事業

1. 建築士会全国大会「**大阪大会**」への参加促進
2. 関東甲信越建築士会ブロック会青年協議会「**東京大会**」への参加促進
3. 全国女性建築士連絡協議会「**山形大会**」への参加促進
4. 建築士賠償・工事賠償責任補償制度の広報活動の**強化推進**

◇調査・研究に関する事業

1. 歴史的建造物調査の支援
2. 建築士業務の適正運営の推進
3. 新規事業の企画・立案

◇福利増進・その他の事業

1. 国家褒章・連合会表彰等の上申及び功労者表彰の実施
2. 慶弔見舞金の給付
3. 会員レクリエーション事業の実施
4. その他目的達成のために必要な事業の実施

議案第4号

令和7年度収支予算(案)

令和7年4月1日～至令和8年3月31日
(単位：円)

大科目	中科目	小科目	令和7年度 予算額(A)	令和6年度 予算額(B)	差 異 (A-B)
I 事業活動収支の部					
(1) 事業活動収入					
入会金収入	入会金収入	入会金収入	50,000	50,000	0
会費収入	会費収入		23,448,000	25,782,000	△ 2,334,000
		正会員会費収入	18,720,000	21,000,000	△ 2,280,000
		準会員会費収入	378,000	432,000	△ 54,000
		賛助会員会費収入	4,350,000	4,350,000	0
事業収入			50,788,000	42,142,800	8,645,200
	講習会収入		4,470,000	5,710,000	△ 1,240,000
		法定定期講習会収入	1,000,000	1,220,000	△ 220,000
		指定講習会収入	2,130,000	2,700,000	△ 570,000
		研修講習会収入	1,340,000	1,790,000	△ 450,000
	図書等頒布収入		5,280,000	2,760,000	2,520,000
		出版図書収入	3,820,000	1,400,000	2,420,000
		用紙等頒布収入	10,000	10,000	0
		斡旋図書収入	1,400,000	1,300,000	100,000
		表示板頒布収入	50,000	50,000	0
	事業受託収入		29,658,000	23,264,000	6,394,000
		試験受託収入	3,570,000	3,500,000	70,000
		調査受託収入	3,498,000	3,278,000	220,000
		判定・認定業務 受託収入	3,200,000	3,080,000	120,000
		事務受託収入	1,960,000	1,040,000	920,000
		耐震診断派遣業務 受託収入	17,430,000	12,366,000	5,064,000
	手数料収入		2,735,000	2,735,000	0
		二級・木造建築士 事務手数料収入	2,735,000	2,735,000	0
	委員会等事業収入		8,645,000	7,673,800	971,200
		事業収入	8,645,000	7,673,800	971,200
補助金等収入	事業助成金収入		500,000	200,000	300,000
		連合会助成金	500,000	200,000	300,000
雑収入		7,840,000	9,060,000	△ 1,220,000	
	受取利息収入	0	0	0	
		7,840,000	9,060,000	△ 1,220,000	
	資料発送支部 負担金収入	3,240,000	3,300,000	△ 60,000	
	広告・協賛金収入	4,100,000	5,260,000	△ 1,160,000	
	雑収入	500,000	500,000	0	
事業活動収入計(A)			82,626,000	77,234,800	5,391,200

大科目	中科目	小科目	令和7年度 予算額 (A)	令和6年度 予算額 (B)	差 異 (A - B)
(2) 事業活動支出					
事業費支出			40,572,000	32,300,000	8,272,000
	講習会費支出		2,059,000	2,306,000	△ 247,000
		法定定期講習会費支出	390,000	490,000	△ 100,000
		指定講習会費支出	1,163,000	1,310,000	△ 147,000
		研修講習会費支出	506,000	506,000	0
	けんちく茨城 印刷費支出		1,000,000	1,000,000	0
	情報通信普及 推進費支出		260,000	330,000	△ 70,000
	C P D 制度 推進費支出		207,000	393,000	△ 186,000
	委託事業費支出		19,596,000	14,444,000	5,152,000
		調査業務実施費支出	2,872,000	2,664,000	208,000
		応急危険度判定士 認定業務費支出	900,000	880,000	20,000
		試験業務実施費 支出	500,000	580,000	△ 80,000
		事務受託支出	1,010,000	745,000	265,000
		耐震診断派遣 業務委託費支出	14,314,000	9,575,000	4,739,000
	普及宣伝費支出		850,000	1,150,000	△ 300,000
		対社会的事業費 支出	350,000	450,000	△ 100,000
		会員増強促進 費支出	200,000	300,000	△ 100,000
		広報費支出	300,000	400,000	△ 100,000
	研修費支出		4,130,000	4,320,000	△ 190,000
		研修費支出	650,000	650,000	0
		親睦事業費支出	3,480,000	3,670,000	△ 190,000
	委員会費支出		1,200,000	1,200,000	0
	青年女性委員会 費支出		3,560,000	1,867,000	1,693,000
	賛助会活動 費支出		200,000	200,000	0
	助成金支出		770,000	850,000	△ 80,000
	まちづくり 活動費支出		690,000	390,000	300,000
	出版事業費支出		4,150,000	1,850,000	2,300,000
		図書製本費支出	2,700,000	600,000	2,100,000
		法令用紙作成費 支出	0	0	0
		斡旋図書仕入費 支出	1,400,000	1,200,000	200,000
		表示板仕入費 支出	50,000	50,000	0
	地域貢献活動 費支出	地域貢献活動 費支出	1,900,000	2,000,000	△ 100,000

大科目	中科目	小科目	令和7年度 予算額 (A)	令和6年度 予算額 (B)	差 異 (A - B)
管 理 費 支 出			49,518,000	49,358,000	160,000
	給料手当支出		19,940,000	19,600,000	340,000
		給料支出	14,320,000	13,900,000	420,000
		手当支出	5,620,000	5,700,000	△ 80,000
	中退金掛金支出		648,000	648,000	0
	福利厚生費支出		3,700,000	3,600,000	100,000
	会議費支出		4,480,000	3,380,000	1,100,000
		総会費支出	2,200,000	2,200,000	0
		理事会費支出	680,000	680,000	0
		諸会議費支出	1,600,000	500,000	1,100,000
	会計報酬支出		270,000	270,000	0
	租税公課費支出		1,800,000	1,900,000	△ 100,000
	負担金支出		6,560,000	6,800,000	△ 240,000
		連合会費支出	5,860,000	6,160,000	△ 300,000
		関プロ会費支出	400,000	400,000	0
		団体会費支出	300,000	240,000	60,000
	旅費交通費支出		550,000	500,000	50,000
	通信運搬費支出		3,000,000	2,900,000	100,000
	什器備品費支出		450,000	150,000	300,000
	消耗品費支出		1,050,000	950,000	100,000
	印刷製本費支出		400,000	2,010,000	△ 1,610,000
	地代支出		0	0	0
	慶弔費支出		1,900,000	2,000,000	△ 100,000
	家賃支出		1,100,000	1,100,000	0
	事務所共益費支出		820,000	820,000	0
	機械借損費支出		2,250,000	2,250,000	0
	雑支出		600,000	480,000	120,000
予備費支出	予備費支出		2,560,984	1,523,894	1,037,090
	事業活動支出計 (B)		92,650,984	83,181,894	9,469,090
	事業活動収支差額 (A) - (B)		△ 10,024,984	△ 5,947,094	△ 4,077,890

大科目	中科目	小科目	令和7年度 予算額 (A)	令和6年度 予算額 (B)	差 異 (A - B)
Ⅱ 投資活動収支の部					
(1) 投資活動収入					
特定資産取崩 収	積立預金 収	金入	4,500,000	4,000,000	500,000
		運営資金積立 預金取崩収	4,000,000	4,000,000	0
		80周年積立取 収	0	0	0
		関ブロ茨城積立 預金取崩収	500,000	0	500,000
投資活動収入計			4,500,000	4,000,000	500,000
(2) 投資活動支出					
特定資産取得 支	積立預金取得 支	得	500,000	500,000	0
		運営資金積立 預金取得支	0	0	0
		80周年積立預金 取得支	500,000	500,000	0
		関ブロ茨城積立 預金取得支	0	0	0
投資活動支出計			500,000	500,000	0
投資活動収支差額			4,000,000	3,500,000	500,000
Ⅲ 財務活動収支の部					
(1) 財務活動収入					
財務活動収入計			0	0	0
(2) 財務活動支出					
財務活動支出計			0	0	0
財務活動収支差額			0	0	0
当期収支差額			△ 6,024,984	△ 2,447,094	△ 3,577,890
前期繰越収支差額			6,024,984	2,447,094	3,577,890
次期繰越収支差額			0	0	0

議案第5号

理事及び監事の欠員に伴う後任者の選任について

理事及び監事の欠員に伴い、定款第23条の規定により、後任者の選任を行うものである。

なお、今総会において選任された理事・監事の任期は、定款第26条第1項の規定に関わらず前任者の残任期間とする。

理事候補者 中島三博（県庁支部）

監事候補者 足立信幸（県庁支部）

（推薦理由）

理事 山田陽一氏（県庁支部）と、監事 小沼紀男氏（県庁支部）から辞退の申し出があった。このことにより理事と監事が欠員となるため、その後任理事候補者と後任監事候補者を推薦するものである。

議案第6号

会費等徴収規程（案）について

一般社団法人茨城県建築士会 定款

第7条 会員は、入会金及び会費を納入しなければならない。

2 入会金及び会費の額は、総会において別に定める。

以下、省略

一般社団法人茨城県建築士会 会費等徴収規程（案）

本会定款第7条第2項の規定に基づき、会員の入会金及び会費を次のとおり定める。

（入会金）

第1条 本会の会員になろうとする者は、入会申込書（別記様式）に添えて、下記の入会金を納めなければならない。

- | | | |
|--------------|---------|----------------------|
| (1) 正会員 | 2,000円 | 令和4年度から無料とする（期限は定めず） |
| (2) 準会員 | 1,500円 | （ 〃 ） |
| (3) 賛助会員（1口） | 10,000円 | （1口以上） |

2 準会員から正会員に昇格するときは、入会金を要しない。

（会費）

第2条 本会に納める会員の会費は次のとおりとする。

- | | | |
|----------|-------------|--|
| (1) 正会員 | 月額（連合会費を含む） | 1,000円 （令和8年度から1,300円とする） |
| (2) 準会員 | 月額（連合会費を含む） | 900円 |
| (3) 賛助会員 | 年間（1口） | 30,000円（1口以上） （令和8年度から40,000円（1口以上）とする） |

以下、省略

附則

- この規程は、昭和46年4月1日より適用する。

昭和50年5月27日	一部改正
昭和52年4月	一部改正
昭和55年5月	一部改正
昭和60年5月	一部改正
平成8年4月	一部改正（第2条第1号及び第2号改正）
平成11年4月	一部改正
平成15年4月	一部改正（第2条第3号改正）
- この規程は、平成25年4月1日から施行する。（第1条追加）（一般社団法人へ移行）

令和4年5月	一部改正（第1条第1号及び第2号）
<u>令和7年5月30日</u>	<u>一部改正（第2条1号から3号まで）</u>

令和1年度～令和6年度まで・・・6年間 216名の入会者（紹介者リスト）内、156名72%紹介者有り

資料-4

人数	支部	氏名	紹介者	勤務先
1	県央	田代 綾乃	柴 和伸	㈱柴建築設計事務所
2	県央	大内 あいか	柴 和伸	㈱柴建築設計事務所
3	賛助会		柴 和伸	㈱森久
4	賛助会		柴 和伸	ホテルレイクビュー水戸
5	賛助会		柴 和伸	茨城県解体工事業協同組合
6	賛助会		柴 和伸	(株)HT
7	筑西	小島 時夫	中山 和朗	自営
8	筑西	清水 宏将	中山 和朗	㈱シミズコーポレーション
9	筑西	水越 義貴	中山 和朗	㈱感動ハウス
10	筑西	高野 修一	中山 和朗	ティーフ工業㈱
11	筑西	小口 隆行	中山 和朗	住宅R工房
12	筑波	須藤 勝広	相澤 晴夫	㈱相澤建築設計事務所
13	筑波	中山 良太	相澤 晴夫	㈱相澤建築設計事務所
14	筑波	青山 光章	相澤 晴夫	レイズ建築設計事務所
15	筑波	井澤 裕美	相澤 晴夫	㈱建築設計室匠工房
16	筑波	塚田 和美	青木 孝二	㈱塚田建設
17	筑波	大類 裕幸	青木 孝二	空設計室
18	筑波	藤間 明美	青木 孝二	㈱インテグラル
19	筑波	古川 和明	青木 孝二	㈱エイチ・ケーホーム
20	筑波	堀口 元気	青木 孝二	㈱エイチ・ケーホーム
21	県央	堀口 徹	益子 一彦	㈱三上建築事務所
22	県央	大井 友彦	益子 一彦	㈱三上建築事務所
23	県央	呼野 友美	益子 一彦	㈱三上建築事務所
24	県央	本園 英幸	益子 一彦	㈱三上建築事務所
25	筑波	小貫 康夫	松田 祐光	㈱カイテキホーム
26	筑波	吉川 真奈美	松田 祐光	
27	筑波	松田 智徳	松田 祐光	㈱東京設計事務所
28	筑波	岩崎 駿介	松田 祐光	岩崎建築設計事務所
29	筑波	人見 恭司	松田 祐光	市松
30	県庁	奈良 昌樹	山田 陽一	県庁
31	県庁	中山 洋	山田 陽一	県庁 営繕課
32	県庁	増澤 暁	山田 陽一	県庁 住宅課
33	県庁	鈴木 秀男	山田 陽一	㈱安心確認検査機構
34	鹿島	椎木 政勝	猿田 浩一	椎木工務店
35	鹿島	高橋 亮人	猿田 浩一	高橋工務店
36	鹿島	植田 恵裕	猿田 浩一	㈱ノーブルホーム
37	賛助会		菅澤 達行	四国化成工業(株)
38	土浦	大塚 美沙	菅澤 達行	㈱増山栄建築設計事務所
39	土浦	石橋 柗二	菅澤 達行	㈱増山栄建築設計事務所
40	土浦	坪 峻太	菅澤 達行	㈱増山栄建築設計事務所
41	賛助会		清水 洋一	㈱染めQテクノロジ
42	賛助会		清水 洋一	伊田テクノス㈱
43	賛助会		清水 洋一	㈱清水建設
44	賛助会		清水洋一・高橋一雄	(一社)損害鑑定支援協会
45	県庁	石川 博義	滑川 浩一	安心確認機構
46	ひたちなか	澤島 恵一	滑川 浩一	㈱安心確認検査機構
47	古河さしま	矢野 靖彦	滑川 浩一	㈱安心確認検査機構
48	土浦	櫻井 勝宏	滑川浩一・関根美宏	㈱安心確認検査機構
49	県央	根本 駿太郎	根本 洋一郎	㈱根本建築設計事務所
50	県央	田谷 和夫	根本 洋一郎	㈱根本建築設計事務所
51	県央	鎌田 俊喜	根本 洋一郎	㈱根本建築設計事務所
52	筑波	田中 幸郎	長瀬 行弘	㈱ノーブルハウジング
53	筑波	浅野 欽三	長瀬 行弘	㈱ノーブルハウジング
54	筑波	浅野 高宏	長瀬 行弘	浅野物産㈱

再入会

再入会

人数	支部	氏名	紹介者	勤務先
55	県庁	石橋 拓実	足立 信幸	茨城県庁
56	県庁	遠藤 未希	足立 信幸	茨城県庁 県央建築指導課
57	賛助会		助川 義浩	㈱エイアイシー
58	県庁	小川 慶一郎	助川 義浩	茨城県庁
59	筑波	武田 充	飯島 洋省	and HAND建築設計事務所
60	桜川	海老澤 望	飯島 洋省	㈱AKH建築設計事務所 桜川分室
61	石岡	中山 昇一	磯部 公一	㈱樋谷建築工房
62	石岡	小林 敏一	磯部 公一	㈱小林工業
63	県央	小池 大允	大山 早嗣	㈱小池住建
64	県央	山崎 柗麻	大山 早嗣	㈱大山都市建築設計 水戸設計室
65	土浦	石田 直行	小神野 栄	㈱石田設備設計
66	土浦	福田 敏明	小神野 栄	福田設計
67	県庁	林 尚司	小沼 紀男	茨城県建築センター
68	県庁	鈴木 真実子	小沼 紀男	茨城県建築センター
69	結城	久保 肇	石嶋 尚	㈱石島建設
70	結城	鈴木 亮一	石嶋 尚	㈱石島建設
71	石岡	吉田 正	久保田 吉文	㈱コボタ建築設計事務所
72	石岡	近藤 圭将	久保田 吉文	㈱コボタ建築設計事務所
73	土浦	結束 光	結束 芳彦	㈱けっそく設計
74	土浦	三上 仁志	結束 芳彦	㈱けっそく設計
75	筑西	古谷野 健一	百目鬼 正崇	ハロ建築工房
76	筑西	添田 洋子	百目鬼 正崇	木屋建築設計事務所
77	土浦	菊地 秀男	豊崎 晋也	㈱ネロ・デザイン
78	土浦	岡田 一吹	豊崎 晋也	㈱ネロ・デザイン
79	筑波	久世 直哉	中泉 文夫	(一財)ベターリビング
80	筑波	服部 和徳	中泉 文夫	(一財)ベターリビング
81	筑波	大高 葉月	茂垣 直樹	
82	筑波	松尾 悠昂	茂垣 直樹	㈱エム・スタイル
83	北相馬	齋藤 寿樹	宮崎 清	㈱TDF
84	北相馬	松添 明彦	宮崎 清	筑南総合建設協同組合
85	常総	野中 誠史	福田 明良	業志舎
86	賛助会		福田 明良	㈱カナメ
87	筑波	本郷 未帆	山本 剛大	
88	筑波	山本 洋輔	山本 剛大	
89	筑波	山本 真義	山本 剛大	
90	筑波	飯島 嵩	若柳 綾子	㈱若柳建築事務所
91	筑波	野澤 俊夫	若柳 綾子	㈱アルテック
92	賛助会		㈱荻設計 櫻井 充	大阪ガスケミカル㈱
93	賛助会		㈱荻設計 櫻井 充	㈱フロンティア水戸(ホテル「グランドヒルズ」水戸)
94	JR水戸	古川 このみ	諸川 博幸	東日本旅客鉄道㈱
95	JR水戸	伊藤 達哉	諸川 博幸	東日本旅客鉄道㈱
96	JR水戸	栗 良一	諸川 博幸	JR東日本ビルテック㈱
97	県央	西野 恵美	青木 昌弘	水戸市役所 建築指導課
98	県央	山本 聖子	青柳 みゆき	水戸市役所
99	竜ヶ崎	佐藤 裕人	秋山 穰	不二建設㈱
100	県央	中村 周平	浅子 明美	㈱茨城木材相互市場
101	県央	水沼 正一	荒川 芳和	水戸土建工業㈱
102	県央	高阿田 真矢	石川 啓司	㈱石川建築研究所
103	県央	市毛 あずか	市毛 純一	市毛建築設計事務所
104	賛助会		茨城県木材協同	㈱茨城県南本道住宅センター(再入会)
105	筑波	潮田 将	潮田 充	つくば市役所
106	日立	金澤 直信	梅原 郁夫	㈱山森
107	筑西	江田 友之	江田 隆/中山和朗	江田建設工業株
108	土浦	飯田 瑞穂	枝川 良昌	㈱エダカフ

再入会

人数	支部	氏名	紹介者	勤務先
109	古河さしま	並木 準一	江原 秀明	(一財)茨城県建築センター 県西事務所
110	県央	海老澤 直久	海老澤 司	全農いばらき
111	賛助会		大竹 伸一	㈱梅山工業所
112	久慈	五来 光伸	大森 勝夫	大子町役場
113	賛助会		小川 雅良	斉藤菊正塗装㈱
114	JR水戸	藤本 寿史	落合 正貴	東日本旅客鉄道㈱
115	ひたちなか	井上 美智子	川又 晴彦	㈱井上工務店
116	常総	堀井 喜良	栗原 力男	常総市役所
117	土浦	大場 佑一	結束芳彦・菅澤 達	(有)けっそく設計
118	稲敷	本橋 智美	児玉 欽司	国立開発法人農業・食品産業技術研究機構
119	石岡	島田 由彦	小林 敏一	㈱島田建設
120	久慈	五島 孝二	五来 正浩	常陸太田市役所
121	竜ヶ崎	齋藤 瞭汰	齋藤 修一	龍ヶ崎市役所
122	賛助会		齋藤 みどり	損保A 鑑定㈱
123	筑波	齊藤 浩一	齊藤 保弘	齊藤建築設計事務所
124	結城	飯島 健介	佐山 敦勇	結城市役所
125	北茨城	志村 照雄	篠原 武司	志村建築事務所
126	石岡	仲澤 秀正	島田 哲	naka建築設計室
127	県央	小室 直樹	清水 智之	県庁 住宅課
128	常総	須田 達也	染谷 悦子	㈱染谷工務店
129	日立	反町 駿助	反町 靖秋	坪和建築設計事務所
130	県央	山崎 清弘	高槻 一雄	㈱安心確認検査機構
131	賛助会		高橋 文男	㈱高正建設
132	賛助会		武村 実	茨建工業㈱
133	筑波	谷田部 勝	塚本 一也	浅野物産㈱
134	賛助会		坪和 昭男	常磐地下工業㈱
135	古河さしま	佐藤 和弥	鶴見 真那人	カズマークス一級建築士事務所
136	賛助会		東京建築士会	(株)夢ハウス
137	古河さしま	春田 啓希	長塚 威	春田設計
138	賛助会		無し	ホシザキ北関東㈱茨城支店
139	筑波	上園 勝義	根本 裕子	㈱根本英建築設計事務所
140	筑波	柳田 佳伸	波田 雅也	青木あすなろ建設㈱技術研究所
141	県央	三輪野 曜	塙 万治	ハナワ建築設計事務所
142	土浦	池田 俊彦	林 克臣	池田俊彦建築設計事務所
143	土浦	久松 秀幸	久松 博	久松設計事務所
144	古河さしま	福富 健司	福富 春枝	㈱福富建築設計事務所
145	県央	三上 紀子	藤原 由貴子	笠間市役所
146	筑波	岡原 玄八	松本 真朋	里山建築研究所
147	賛助会		ミナト防災 若林	能美防災㈱茨城支社
148	県央	遠西 雄大	宮本 久	(有)宮本建築アトリエ
149	筑波	高橋 宏祐	元会員 高橋 孝	高橋建築設計事務所
150	坂東	間中 清美	森 均	㈱間中工務店
151	筑波	久保田 健助	矢口 道大	けんちく工房邑
152	坂東	木村 良行	柳澤 泰男	㈱インテグラル
153	筑波	山関 重人	山関 忠	㈱山関工務店
154	賛助会		山田 茂	㈱建設未来通信社
155	ひたちなか	渡邊 勝巳	横須賀 孝	那珂市議会
156	県央	木村 直樹	渡辺 信一	昭和建設㈱
157	賛助会		再入会	富山建材㈱
158	土浦	高橋 斎	再入会	㈱須藤設計
159	土浦	重田 淳	再入会	㈱増山栄建築設計事務所
160	県央	安 尚道	再入会	YASU一級建築士事務所
161	県庁	江原 秀明	再入会	鈴縫工業㈱つくば支店
162	筑波	松岡 利香	再入会	Ms建築設計事務所

再入会

再入会

再入会

再入会

再入会

再入会

再入会

再入会

再入会

人数	支部	氏名	紹介者	勤務先
163	土浦	中島 剛文	筑波支部より移動	中島建築設計事務所
164	竜ヶ崎	佐久間 裕二	筑波支部より移動	(有)サンワード
165	筑波	若柳 綾子	土浦支部より移動	㈱若柳建築事務所
166	石岡	薄井 迅	土浦支部より移動	
167	ひたちなか	大場 佑一	土浦支部より移動	(有)けっそく設計
168	土浦	和知 高廣	石岡支部より移動	増山栄建築事務所
169	筑波	菊地 竜也	石岡支部より移動	㈱landHAND建築設計事務所
170	県央	佐久間 千晶	日立支部より移動	㈱ハウ・ハウス
171	筑波	前田 玄	筑西支部より移動	(有)SUPER SKETCH
172	ひたちなか	飛田 俊明	県央支部より移動	飛田設計工房
173	県央	岡野 武仁	JR支部より転入	東鉄工業㈱
174	筑波	樋口 諒	-	㈱フケタ設計
175	常総	竹山 博史	-	建築オフィス TAKEYA一級建築士事務所
176	石岡	吉田 将宜	-	㈱吉田建設
177	北相馬	永井 広	-	永井設計
178	ひたちなか	浅利 英道	-	日立支部より移動
179	筑波	菅原 亮介	-	㈱AS IT IS
180	下妻	串田 一仁	-	㈱クシダ建設
181	土浦	栗石 香	-	㈱フレスト
182	筑波	宮本 崇雄	-	samurai-architect
183	土浦	湯藤 徹	-	㈱黒澤工務店
184	日立	軍司 正信	-	軍司建設(有)
185	県央	鬼澤 律子	-	グラッソデザインオフィス(有)
186	鹿島	成田 浩一	-	成田建築
187	ひたちなか	忠田 恭一	-	日本原子力発電所
188	筑波	金子 義彦	-	㈱朝日建設
189	県央	鈴木 章	-	㈱中山敬二建築設計事務所
190	筑波	中泉 敬	-	ジャパン建材㈱
191	県央	佐藤 みどり	-	㈱ファーストステージ
192	筑波	市毛 大路郎	-	ととてストラク・ラボ
193	筑西	海老原 一男	-	トリノ設計
194	鹿島	福野達 幸生	-	(有)ハウジング・サポート
195	筑西	森本 秀雄	-	㈱エーアンドエーマテリアル技術開発研究所
196	鹿島	小堀 妙子	-	㈱泉ハウジング
197	稲敷	有坂 久江	-	有坂工務店
198	結城	伊佐岡 健一	-	結城市役所
199	筑波	松崎 正裕	-	㈱インテグラル
200	ひたちなか	古谷 倶章	-	㈱古谷ホーム
201	県央	菊池 喜男	-	会員喪失一復会
202	桜川	木本 修二	-	㈱木本石材
203	土浦	小笠原 浩二	-	阿見町役場
204	結城	岡嶋 利光	-	結城市役所
205	筑波	今関 航	-	㈱木道舎
206	JR水戸	戸邊 学	-	東日本旅客鉄道㈱水戸支社設備部
207	古河さしま	小笠原 麻梨子	-	㈱三国設計
208	県央	藤田 貢	-	JAGフィールド(有)
209	県央	北村 廣美	-	㈱北村建築物調査診断事務所
210	筑波	菅 哲俊	-	(一財)ベターリビングつくば建築試験研究センター
211	行方	内堀 勝美	-	内堀建設(有)
212	筑波	河野 和宏	-	㈱To Cosa
213	筑波	石神 雅美	-	㈱To Cosa
214	鹿島	日暮 善夫	-	大和ハウジング(有)
215	ひたちなか	齋藤 勉	-	ムクリノ建築デザイン事務所
216	筑波	高島 裕希	-	㈱須藤設計(つくば設計室)

43名
紹介者
無し
(18%)

令和7年度 新入会員の一覧【正会員 and 賛助会員】

【正会員8名、賛助会員5社】

No	支部名	氏名	勤務先	紹介者	紹介者の役職	備考
1	県庁	荘司 泰久	(一財)茨城県建築センター	柴 和伸	会長	
2	茨城県鐵構工業協同組合		水戸市	柴 和伸	会長	
3	茨城県塗装工業組合		水戸市	柴 和伸	会長	
4	(公社)日本建築家協会 関東甲信越支部 茨城地域会		つくば市	柴 和伸	会長	
5	土浦	児玉 理文	あや設計 一級建築士事務	石坂 健一		
6	鹿島	久米 健一	(株)高正建設	高橋 文男	まちづくり委員	
7	石岡	小田 邦江	(有)ナオエ総合設計	菊池 直衛		
8	県央	櫻井 郁美	SaCRAFT建築設計事務所	石黒 洋子	総務委員	
9	県央	平戸 豊	(株)石川建築研究所	石川 啓司		
10	日立	櫻岡 佳太	(株)白土工務店			
11	県央	関 勇太	KITAI建築設計事務所	石井 邦明	研修委員	
12	昭和工機(株)		栃木県宇都宮市	設備設計協会の会員		
13	宇賀神電機(株)茨城営業所		水戸市	設備設計協会の会員		

年度	会員数	入会者数	退会者数	差引き	備考-2
					免許交付式の入会者
平成6年度	3,232				
平成7年度	3,228				
平成8年度	3,208				一級22+二級96
平成9年度	3,212	186	182	+4	91名入会
平成10年度	3,152	131	191	▲ 60	83名入会
平成11年度	3,087	115	180	▲ 65	91名入会
平成12年度	3,017	124	194	▲ 70	98名入会
平成13年度	2,902	119	234	▲ 115	67名入会
平成14年度	2,856	156	202	▲ 46	68名入会
平成15年度	2,804	134	186	▲ 52	40名入会
平成16年度	2,781	146	168	▲ 22	21名入会
平成17年度	2,803	187	170	+17	25名入会
平成18年度	2,747	132	170	▲ 38	22名入会
平成19年度	2,724	123	156	▲ 33	7名入会
平成20年度	2,696	113	131	▲ 18	17名入会
平成21年度	2,594	103	153	▲ 50	12名入会
平成22年度	2,517	84	161	▲ 77	7名入会
平成23年度	2,442	80	155	▲ 75	5名入会
平成24年度	2,395	72	119	▲ 47	数名入会
平成25年度	2,314	53	126	▲ 73	数名入会
平成26年度	2,275	66	105	▲ 39	数名入会
平成27年度	2,199	66	140	▲ 74	数名入会
平成28年度	2,123	46	122	▲ 76	数名入会
平成29年度	2,077	51	97	▲ 46	数名入会
平成30年度	2,033	56	92	▲ 36	入会者 0名
令和元年度	1,979	47	101	▲ 54	交付式は中止(廃止)
令和2年度	1,911	24	92	▲ 68	数名入会
令和3年度	1,840	20	91	▲ 71	数名入会
令和4年度	1,787	40	93	▲ 53	数名入会
令和5年度	1,706	26	106	▲ 80	
令和6年度	1,648	37	95	▲ 58	
令和7年度	1,652	4		4	
合計	H9年~R6年迄	2,649	4,185	▲ 1,558	

建築士会会員年齢データの調べ

年齢	令和6年4月16日	
20歳代	13	0.8%
30歳代	71	4.1%
40歳代	321	18.7%
50歳代	426	24.8%
※ 60歳以上	889	51.7%
合計	1,720	100%



令和7年4月8日	
12	0.7%
58	3.5%
284	17.2%
433	26.2%
867	52.4%
1,654	100%

▲66

※ 60才以上のうち、		
60歳代	493	28.7%
70歳代	353	20.5%
80歳代	41	2.4%
90歳代	2	0.1%



※ 60才以上のうち、	
462	27.9%
355	21.5%
49	3.0%
1	0.1%

内、女性157名(▲ 2名) 9.1%

内、女性 151名(▲6名) 9.3%

44市町村の建築士の数(ご参考です)

2025/4/22日 15:06分 現在

	市町村名	R5年7月 行政の会員数
1	水戸市	9
2	日立市	3
3	土浦市	3
4	つくば市	6
5	高萩市	3
6	取手市	3
7	ひたちなか市	2
8	北茨城市	
9	古河市	
10	石岡市	
11	筑西市	1
12	結城市	5
13	竜ヶ崎市	1
14	下妻市	1
15	常総市	
16	常陸太田市	1
17	笠間市	1
18	坂東市	
19	牛久市	
20	守谷市	
21	鹿嶋市	
22	潮来市	1
23	かすみがうら市	1
24	つくばみらい市	
25	桜川市	3
26	小美玉市	—
27	那珂市	2
28	常陸大宮市	—
29	鉾田市	—
30	神栖市	
31	行方市	—
32	稲敷市	—
33	茨城町	
34	城里町	
35	大洗町	1
36	東海村	5
37	大子町	1
38	美浦村	
39	阿見町	2
40	河内町	
41	八千代町	
42	五霞町	—
43	境町	
44	利根町	—
計	44市町村	49
ご参考	県庁支部(県関係)	114
	民間確認検査機関	48
	学校関係(県・民間)	2
	自衛隊、県警、刑務所	1

令和7年4月吉日

市町村長の皆様へ



(一社)茨城県建築士会
会長 柴 和伸
事務局長 助川 義浩
TEL 029- 305- 0329

茨城県建築士会への入会について（お願い）

早速ではございますが、本会では建築士（一級、二級、木造）の会員約1,650名が在籍し、建築士試験ならびに建築士免許登録業務、違反建築パトロール運動、木造住宅耐震診断士の派遣事業、更には住宅相談員や空き家対策協議会、都市計画審議会委員や、裁判所調停委員の推薦など行政等からの様々な要請に協力している団体です。

現在、本会に入会している市町村職員は約50名、県庁職員では約100名、国や県などの研究機関や外郭団体、民間確認検査機関にも多数の会員が在籍しております。

このたび、建築士の有資格者でまだご入会をいただけていない皆様には、是非ご入会を賜りたくお願いを申し上げます。

いままでは市町村に会員の在籍の有無にかかわらず行政等からの要請には協力して参りましたが、こちらから行政に対するお願いは極力控えて参りましたが、全国的な傾向ではございますが会員の高齢化と、建築士のサラリーマン化、そして入会率の低下という事態となりまして、組織率の低下による会員数の減少という状況となり、市町村職員の皆様には、ぜひ建築士会へご入会をいただきたく切にお願いを申し上げますこととさせていただきます。このような状況をお察しいただきまして、ぜひ建築士会の会員となつていただくという形のご協力を賜れば誠に幸いです。

最後になりますが、建築士の資格や建築主事の資格手当等、または団体加入に伴う会費補助制度創設や制度活用など、首長様ならではのご判断・ご決断等も期待させていただきます。建築士会へ入会のごお願いのご挨拶とさせていただきます。

以上。どうぞよろしくお願い申し上げます。



月	日時	曜日		事業名	会場
4	1~15	火~火		建築士試験受験申込受付(一級/二級/木造) 1,100見込み	ネット申込受付のみ
	11~12	金~土	38	関プロ会長会・理事会、災害委員長会議	ホテルテラスザガーデン
	16~20	水~土	120	第20回 会員美術展	水戸市民会館
	19	土	20	蕎麦打ち体験と、けんちん汁作り【女性委員会】	水戸市森林公園
	22	火	10	情報広報委員会	市町村会館
	24	木	14	わくわくセミナー:曳家の魅力を知る	土浦三中地区公民館
	25	金	63	茨城県建築基準関係資料集とその解説等講習会	市町村会館
	30	水	8	会計監査	建築会館
5	7	火	10	総務企画委員会	市町村会館
	10	土	26	関プロ青年協議会「東京大会」	東京
	15	木	38	理事会・支部長会	市町村会館
	18	日	29	ラプアークセミナー「宮大工のしごと」・・・定員締切(キャンセル待ち)	土浦市
	24	土	12	わくわくセミナー:見学会「境町の建築物」	境町
	30	金	172	建築士会 通常総会	ホテルレイクビュー水戸
6	10	火	52	定期講習	開発公社4階
	25	水		第33回チャリティゴルフ大会	富士カントリー笠間
7	1~15	火~火		建築パトロール事業 19支部20地区35市町村52班	県内
	5	土	7	ラプアークセミナー「新2号建築物詳細説明」講習会・・・先着18名	開発公社ビル
	6	日		二級建築士「学科試験」	水戸市内
	11	金		大納涼会	水戸テラスザガーデン
	19~20	土~日		全国女性建築士協議会	山形県
	27	日		一級・木造建築士「学科試験」	水戸市内
8	19	火		総務企画委員会	市町村会館
	21	木	26	定期講習	研修センター
	23	土		第15回ボウリング大会	大学ボウル 水戸
	27	水		理事会・支部長会・・・28.木 × → 27.水 ◎ に変更	市町村会館
9	11	木	16	定期講習	開発公社
	14	日		二級建築士「製図試験」	水戸市内
	18	木	15	知事指定講習「建築士会 技術講習会」	開発公社4階
	19	金		第67回全国大会「大阪大会」	大阪市「グランキューブ大阪」
10	4	土		建設フェスタ	笠松運動公園
	12	日		一級・木造建築士「製図試験」	水戸市内
	21	火		監理技術者講習	市町村会館
11	3	月		第33回日帰り見学会	関東地方
	15	土		青年委員会50周年記念式典	水戸市内
	18	火		総務企画委員会	市町村会館
	27	木		理事会・支部長会	市町村会館
12	2	火		二級・木造建築士試験「製図試験の合格発表」	普及センター、建築士会
	17~18	水~木		建築士免許 一斉受付(二級・木造)	建築会館
	24	水		一級建築士試験「製図試験の合格発表」	普及センター、建築士会
1	20~21	火~水		建築士免許 一斉受付(一級/二級/木造)	建築会館
	30	金		第21回賀詞交歓会	ホテルレイクビュー水戸
2	20~31	火~土		建築パトロール事業 19支部20地区35市町村52班	県内
	13	金	3	知事指定講習「建築士会 技術講習会」	研修センター
3	19	木		PM ~ 支部事務局会議	ウエストヒルズ水戸
	17	火		総務企画委員会	市町村会館
	26	木		理事会・支部長会	市町村会館

※ 状況により、中止・延期・縮小開催、Web、リモート事業や想定外の変更もあるかも知れません。

☆ 主な行事予定については、様々な事情により予告なく変更する場合がございます

令和7年度 通常総会の開催について(要返信)

建築士会正会員の皆さまには、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

下記のとおり、令和7年度通常総会を開催いたしますので、ご多用中とは存じますが万障繰り合わせの上ご出席くださいますようお願い申し上げます。ご案内いたします。総会へ出席される際のマスクの着用については、各自の判断にお任せいたします。なお、ご出・欠のお返事は、5月16日までをお願いいたします。

令和7年4月吉日

一般社団法人茨城県建築士会
会長 柴 和 伸

記

日 時 : 令和7年 5月30日(金) 午後3時 ~ 午後4時15分(予定)
場 所 : ホテル レイクビュー水戸
水戸市宮町1-6-1 TEL: 029 - 224 - 2727
議 題 : 議案第1・2号 令和6年度事業報告・令和6年度収支決算について
会計監査報告
議案第3・4号 令和7年度事業計画(案)・令和7年度収支予算(案)について
議案第5・6号 理事・監事の後任者選任・令和8年度会費の値上げについて

併催行事 : 総会終了後懇親会(午後4時30分 ~ 6時15分 会費 6,000円/人:当日会場にて頂戴いたします。)

恐れ入りますが、**出・欠のご連絡を 5月 16日(金)までに、建築士会事務局までファックス等にて返送くださいますようお願いいたします。**

FAX : 0 2 9 - 3 0 5 - 0 3 3 0

◆通常総会 午後3時 ~ (受付:午後 2時30分 ~)

出席する ・ 欠席する

◆懇親会 午後4時15分 ~ 6時00分(会費 6,000円/人 ※青年・女性会員は会費 4,000円/人)

参加する ・ 参加しない

支部名 _____ (支部) _____ お名前 _____

※出席できないときは、下記の委任状に署名のうえ、5月16日(金)までに必ずご返信ください。

委 任 状

私儀 _____ を代理人と定め下記の権限を委任いたします。

1. 令和7年5月30日(金) 茨城県建築士会令和6年度通常総会における議決権行使に関する一切
2. 上記に関する一切の事項
3. 代理人が空欄の場合は、議長を代理人と定めることとする

令和7年 月 日 氏名(署名) _____

2025年5月 わくわくセミナー見学会のお知らせ

(一社)茨城県建築士会 女性委員会

女性委員長 大谷 美由紀

担当 平山 香菜子

平島 かよ子



『隈研吾建築物を巡る旅』 ～境町の事例について～



何かと世間をにぎわせている隈研吾氏の建築物。

茨城県境町にいくつも点在しているのをご存じですか。

今回は、隈研吾氏設計の「さかいサンド」「茶蔵」「モンテネグロ会館」

「S-Lab」「S-Gallery」「HOSHIMO 100 Caf e」をはじめ、

他施設の見学や自動運転バスの乗車など、盛りだくさんの内容となっております。

全ての施設について、さかいまちづくり公社の方のガイド付き。

日時： 2025年5月24日(土)
10:00 ～ 14:30

案内： 新井 伴明 氏

(株)さかいまちづくり公社
道の駅さかい 地方創生推進部



集合： 10:00 道の駅さかい 正面入口
(茨城県猿島郡境町新吉町1341-1)

※定員15名(ハイエースとヴォクシーで見学するため)

会費： 2,000円 (※今回は会員のみとさせていただきます。)

※隈研吾建築 茶蔵 2階にて昼食のお弁当付き♪

※道の駅さかいで使える¥1,000お買い物券付き♪

※ 参加申込みは、下記へFAX又はメールにて、5月17日(土)までにお願いします。

※ 申込先 (一社)茨城県建築士会事務局 (TEL: 029-305-0329)

FAX: 029-305-0330

E-mail: kyy05413@nifty.com

5月24日(土)の わくわくセミナー に 参加 します

支部名 _____ お名前 _____

当日の連絡先(携帯番号等)

準備の都合上、キャンセルされる方は事前にご連絡をお願いします。

2025年度 建築士 定期講習日程 及び 講習会場等について（建築士法第22条の2）

主催：登録講習機関（公財）建築技術教育普及センター（担当団体：（一社）茨城県建築士会）

1. 受講申込み方法、受付・担当団体案内

受講申込みは、原則として普及センターのホームページから インターネットによる申込みになります。

普及センターHP ⇒ <https://www.jaeic.or.jp/gyomu/teiki/houshiki.html>



普及センターHP

※ インターネットによる申込みが困難な方については、普及センターHPより申込書をダウンロードの上、郵送等によりお申込ください。

- (1) 担当団体 茨城県建築士会
- (2) 住所 〒310-0852 茨城県水戸市笠原町978-30 建築会館2階
- (3) 電話 029-305-0329
- (4) 申込締切 各会場とも講習日の約10日前まで（定員となり次第締め切りますので、ご注意ください。）
- (5) 受講手数料 12,980円（消費税含む）

2. 講習日及び講習会場案内、申込受付等

(1) 講習日及び講習会場、定員

会場コード*	講習日	講義方式	講習会場名	募集定員	締切り
2A-01	6月10日(火)	DVDのみ	茨城県開発公社ビル	75名	5月30日(金)
2A-02	8月21日(木)	DVDのみ	茨城県建設技術研修センター	52名	8月8日(火)
2A-03	9月11日(木)	DVDのみ	茨城県建設技術研修センター	52名	8月29日(金)

(2) 講習会場案内

2A-01	2A-02、2A-03
会場名：茨城県開発公社ビル 4階 大会議室 住所：水戸市笠原町978-26	会場名：茨城県建設技術研修センター 2階 中会議室 住所：水戸市青柳町4193
※ 駐車場はございますが、駐車台数には限りがございます。お車の方はお早めにお越し下さい。	
※ 6月の講習会では、お弁当屋さんの注文取りがありませんので、各自でのご対応をお願い致します。	

(3) 講習の時間割（時間割について、一部変更となる場合があります。）

項目	時間(2A-01)	時間(2A-02、03)	内容
受付開始	9:25~	9:00~	・講習会場への入場及びテキストの配布等
受講説明	9:45~ 9:50	9:25~ 9:30	・講習概要の説明、注意事項の説明
講義	9:50~11:55	9:30~11:35	・建築物の建築に関する法令①(1.最近の建築関係法令の動き) (休憩5分含む)
休憩	11:55~12:55	11:35~12:25 昼食休憩
講義	12:55~13:55	12:25~13:25	・建築物の建築に関する法令②(2.建築基準法 3.建築士法) 10分の休憩
	14:05~16:10	13:30~15:40	・設計及び工事監理に関する科目 (休憩5分含む)
修了 考查	一級 建築士	16:20~16:30	・建築物の建築に関する法令に関する科目 ・設計及び工事監理に関する科目
	二級 建築士	(注意事項説明)	(注意事項説明)
	木造 建築士	16:30~17:30 (修了考查)	16:00~17:00 (修了考查)
			・建築物(法3条に規定する建築物を除く)の設計及び工事監理に関する科目
			・木造の建築物の建築に関する法令に関する科目 ・木造の建築物(法3条及び3条の2に規定する建築物を除く)の設計及び工事監理に関する科目

☆ HBの黒鉛筆かシャープペン、消しゴムを忘れずにご持参下さい(修了考查で使用します)。また、受講票もお忘れなく。当日、受付にて受講票をご提示後に、講習テキストをお渡します。なお、修了考查において、講義で使用了講習テキストを参照が可能です。

お問い合わせ (一社)茨城県建築士会 TEL. 029-305-0329

2025年7月ラブアーキセミナー



(一社)茨城県建築士会 女性委員会
女性委員長 大谷 美由紀
担当：篠根・小貫・金子

ラブアーキセミナー『新2号建築物詳細説明』講習会のご案内

本年4月1日以降に着工する建築物の建築基準法・省エネ法が大幅に見直されました。今回見直されてから1ヶ月が過ぎ、改めて疑問がわいた方もいらっしゃるかと思います。そこで確認申請添付図書や監理の内容や各検査にあたり、それに伴う図書や図面について、現場監理のポイントなど、その疑問や変更内容について分かり易く解説して頂きたいと思います。

講師は安心確認検査機構 永堀克則先生をお招きし、今回の変更について詳しくお話して頂きます。ぜひご参加をお待ちしております。

日時 2025年 7月5日(土) 13:30~16:00

講師 (株)安心確認検査機構 技術統括(兼)構造審査課長 永堀 克則 先生

会場 茨城県開発公社ビル 5階小会議室 (4階会議室に変更の可能性あり)

住所 水戸市笠原町 978-25 TEL 029-301-7001

定員 18名 (先着順)

会費 建築士会会員(無料)、一般の方(1,000円)

CPD 2単位 (CPDに登録のある方は申し出下さい)

***講習会には下記2冊の最新版をご持参ください**



2階建ての木造住宅(軸組工法)等の確認申請・審査マニュアル 省エネ基準適合義務制度の解説

下記の国土交通省のライブラリーWEBページより最新版をダウンロード下さい

<https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/04.html>

■申し込み先 茨城県建築士会 事務局

TEL 029-305-0329

FAX 029-305-0330 E-mail kyy05413@nifty.com

申し込み締切り・キャンセルは 2025年7月1日(火)まで

申し込みに当たりどうしても表面の図書を持参出来ない方は事務局にご連絡ください

2025年7月5日(土)13:30~『新2号建築物詳細説明』講習会に参加します。

() 支部 氏 名 _____

CPDに登録 有 ・ 無 当日連絡先 _____

質問がございましたらお書きください

【会場案内図】

茨城県開発公社ビル 5階小会議室(4階会議室に変更の可能性あり)

住所 水戸市笠原町 978-25 TEL 029-301-7001



“建築士会 技術講習会” (土法第22条の4第5項)

茨城県告示1455号の指定講習(ご注意…土法22条の2とは別の講習です) ★事務所更新に合わせて5年に一度は受講しましょう

主催：(一社)茨城県建築士会
(公社)日本建築士会連合会
後援：(一社)茨城県建設業協会
(一社)茨城県建築士事務所協会
(一財)茨城県建築センター

日 時：①.令和7年9月18日(木) 午前9時40分～午後3時50分 (受付:午前9時10分～)
②.令和8年2月13日(金) 午前9時40分～午後3時50分 (受付:午前9時10分～)

会 場：①.茨城県開発公社ビル 水戸市笠原町978-25 (TEL:029-301-7003)
②.茨城県建設技術研修センター 水戸市青柳町4193 (TEL:029-228-3881)

募集人員：先着150名 (テキストは受講者のみ講習会の当日に配布します)

受講料：士会員…12,000円 非会員…15,000円 (受講料・テキスト代・税込み)

申込方法：下記の申込書に必要事項を記入し、FAXまたはe-mailにてお申込み下さい

FAX : 029-305-0330 e-mail : kyy05413@nifty.com

〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館 2階 (TEL: 029-305-0329)
(一社)茨城県建築士会 技術講習会係 宛て

受講料は受講日の1ヶ月前までに、お振込み又は事務局窓口にて現金でお支払い願います。

◎振込先 ・郵便局 ⇒ 00120-8-59384 口座名：一般社団法人茨城県建築士会
・銀行から振込み ⇒ ゆうちょ銀行 〇一九(ゼロイチキョウ)店 当座 0059384

※お振込み手数料は、お客様ご負担でお願いします。

※ご入金後のキャンセルは、受講料を返金いたしませんのでご注意ください

◎建築士事務所登録の更新を【令和7年9月18日～令和8年9月17日】までに申請される方は、

①.今回の受講証明書が添付書類として有効です。(誓約書を提出済みの方も対象です)

事務所の更新が【令和8年2月13日～令和9年2月12日】の方は②.令和8年2月13日(金)の講習です

◎受講券は受講料の納入確認後、受講日の一週間前までにFAXします。

※当日の朝、お弁当予約販売有り

★ いずれかにチェック⇒ ⇒ ⇒ ①.令和7年9月18日(木) ・ ②.令和8年2月13日(金)

“ 建築士会 技術講習会 ” 申込書

記入必須	氏 名		支 部 名		
	生 年 月 日	西 暦	年	月	日
	電話(携帯可)		F A X		— —
	会 社 名 <small>(建築士事務所の方は登録名)</small>		建築士	登録番号	□一級 □二級 □木造 第 号
	建築士事務所番号	A・B・C 第	号	二・木取得県	都 道 府 県
受講料：士会員 <input type="checkbox"/> 12,000円 <input type="checkbox"/> 非会員15,000円 【納入予定日： 年 月 日】					

※FAXの無い方、および受講券を郵送もしくはメールで希望の方は、ご記入ください。

・住所

・メールアドレス

茨城県建築士会長 柴 和伸 様

令和 7 年 5 月 8 日

茨城県建築士会土浦支部 支部長 永井昭夫



本部会費値上げ（案）につきまして

3月27日の理事会・支部長会議にてご説明頂きました本部会費の値上げについて、土浦支部の理事会、その他意見聴取の場で聞き取りを行なったところ、値上げはやむを得ないとの声がある一方で、反対の意見も根強い状況にあります。会費値上げ分月額300円のうち、支部でいくらかでも飲み込めないものかという意見まで出る始末です。おそらく、他の支部でも同様の意見が出ているものと思われまます。

昨年11月の報告書でも申し上げた通り、弊支部で活発に活動する会員は1/4程度です。この辺の会員は丁寧に説明すれば、だいたいは値上げに納得頂けるだろうとは思いますが、ただ、残りの3/4のあまり活動していない会員の反対の声が根強い状況にあります。この層への説得は難航するだろうと予想しています。反発されて退会されていっても困ります。

こういった状況の中で、ご提案があります。それは会費を正会員全員一律に上げるのではなく、下記に該当する者の会費を据え置くというものです。

1. 青年部 45 歳以下
2. 所員 2 人目以降
3. リタイアしたシニア層（70 歳以上・現役を除く）

本部会費を各会員から徴収するのは支部の役割です。徴収者として、値上げの説明をするのは必然ですから、反発を和らげる施策は必要だろうとの判断の下、ご提案させて頂きました。

もう1点、提案がございます。今回の値上げが物価高騰、28年間値上げしていない等の理由よりむしろ、会員減少が主原因と捉える会員は多く存在します。そういった会員を今後不安にさせないためにも、会員縮小の時代に見合った事業の見直しをしていく必要があるように存じます。会員が2000人を大きく上回る良い時代から、事業内容が基本的に変わっていないのではないかとこの意見は多くございますので、事業改革を検討するプロジェクトチームを作って議論できる場が必要だろうと存じます。

尚、3月27日の理事会・支部長会議では、当方の意見は差し控えさせて頂きました。3月27日の議題の内容は3月21日にメールで頂きましたが、それを支部内に持ち帰る猶予がなかった為です。当方、理事ではありませんので、支部内の取りまとめが主であると考えております。

5月16日に支部の総会を控えております。その際も会費値上げについて説明し、意見聴取したいと考えております。それを踏まえて、5月30日の本部総会にて意見陳述も検討したいと考えております。

第 42 回 住まいのリフォームコンクール 応募要項

「第 42 回住まいのリフォームコンクール」を、
2025 年 4 月 1 日(火)から 6 月 23 日(月)までの募集期間にて開催します。

1985 年に住まいのリフォームコンクールを開始して以来、今年で 40 周年。
住宅から、あるいは住宅への用途変更を伴うものを含め、住宅ストックの有効活用、深刻化する技能者不足への対応、既存住宅流通・リフォーム市場の拡大・活性化に資する取組み等、社会課題の解決に有効な作品等の住まいのリフォーム事例を募集します。

また、今回より「ナレッジ賞」が新設されました。大きな規模、金額ではなくても、キラリと光る作品も広く募集します。

募集期間

2025 年 4 月 1 日(火)～6 月 23 日(月)

審査委員

委員長	松村 秀一	神戸芸術工科大学 学長
委員	相原 康生	(独)住宅金融支援機構 マンション・まちづくり支援部 技術統括室長
委員	池本 洋一	(株)リクルート SUUMO 編集長
委員	柿本 章子	主婦連合会 副会長
委員	鈴木ひとみ	建築設計工房 パッソ ア パッソ 代表
委員	中西ヒロツグ	イン・ハウス建築計画 代表
委員	中野 淳太	法政大学 デザイン工学部建築学科 教授
委員	松野 秀生	国土交通省 住宅局 住宅生産課 課長
委員	丸茂みゆき	文化学園大学 造形学部建築・インテリア学科 教授
委員	森田 芳朗	東京工芸大学 工学部工学科 教授
委員	鈴木 徹	(公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター 専務理事

(敬称略、所属・役職は 2025 年 3 月現在)

主催 公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター

後援・協賛

後援: 国土交通省 | (独)住宅金融支援機構 | (独)都市再生機構 | (一社)住宅瑕疵担保責任保険協会 | (一社)住宅リフォーム推進協議会 |

協賛: (公財)建築技術教育普及センター | (一財)高齢者住宅財団 | (一財)住宅・建築 SDGs 推進センター | (一財)住宅保証支援機構 | (一財)住まいづくりナビセンター | (公財)日本賃貸住宅管理協会 | (一財)ベターリビング | (公財)マンション管理センター | (公社)インテリア産業協会 | (一社)JBN・全国工務店協会 | (公社)日本建築家協会 | (公社)日本建築士会連合会 | (一社)日本建築士事務所協会連合会 | (一社)日本住宅リフォーム産業協会 | (一社)日本ツーバイフォー建築協会 | (一社)日本木造住宅産業協会 | (一社)不動産協会 | (一社)不動産流通経営協会 | (一社)プレハブ建築協会 | (一社)マンション管理業協会 | (一社)マンションリフォーム推進協議会 | (一社)リビングアメニティ協会 | (一社)リノベーション協議会 | 全国建設労働組合総連合 | 日本室内装飾事業協同組合連合会 | 日本木造住宅耐震補強事業者協同組合

□ 目的

本コンクールは、全国各地で施工された住宅リフォームの事例を募り、優秀な事例についてリフォームの依頼主(施主)・設計者・施工者を表彰し、これを消費者や事業者に広く紹介することにより、住宅リフォームの促進とその水準の向上を図ることを目的としています。

□ 審査基準

住宅から、あるいは住宅への用途変更を伴うものを含め、以下の観点の一つ以上に関し評価できる住宅リフォームの事例であること

(顧客ニーズ対応の観点)

- 1 顧客のニーズ(潜在的なものを含む)を踏まえ、新たなライフスタイルの実現を図るなど顧客満足度を向上させる工夫を講じているもの

(性能の確保・見える化等による安全安心確保・資産価値向上の観点)

- 2 住宅の性能の確保・向上、住宅性能表示制度等の認証制度や保険制度等の活用等を通じ、安全安心・快適性・経済性の確保や資産価値の向上が図られているもの

(地域課題への対応の観点)

- 3 二(多)地域居住への対応や地域で求められている機能の導入など、ストック活用の幅を広げ地域課題の解決を図ることに貢献しているもの

(居住者参画を含む産業構造改革の観点)

- 4 DIY 活用等居住者の参画や工法の合理化、再生材活用など、担い手不足、資材価格高騰等の産業構造的問題の解決に資する工夫を講じているもの

(特別な制約への対応の観点)

- 5 マンション再生、工業化住宅の改修、小規模部分リフォームなど、構造・費用・合意形成等の制約を克服するための工夫を含むもの

特に緊急に対応することが求められている以下の社会課題の解決に有効と考えられる提案・工夫を講じているものは高く評価する

- a. 世帯数を大幅に上回る住宅ストックの有効活用
(二(多)地域居住や多様な機能の導入等ストックの活用の幅を広げるもの等)
- b. 深刻化する技能者不足への対応
(専門家関与の下での DIY リノベの推進等担い手の幅を広げるもの等)
- c. 既存住宅流通・リフォーム市場の拡大・活性化
(個人間売買での保険制度活用、リフォームにより改善した性能の見える化等、既存住宅流通・リフォーム市場の拡大に資するモデル的取組み等)

□ 表彰

- ・国土交通大臣賞 ……………(1点)賞状・記念品
総合的に全てに優秀で、消費者及び事業者に広く普及すべき内容のもの
- ・独立行政法人 住宅金融支援機構理事長賞……………(1点)賞状・記念品
性能向上、認証制度活用等を通じ資産価値の向上が図られているもの
- ・公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター理事長賞……………(1点)賞状・記念品
住宅ストックの活用の幅を広げる観点から優れた取り組みであるもの
- ・一般社団法人 住宅リフォーム推進協議会会長賞……………(1点)賞状・記念品
新技術の活用等による生産性向上、長寿命化リフォームの推進等、リフォーム関連の課題解決に資するもの
- ・一般社団法人 住宅瑕疵担保責任保険協会会長賞……………(1点)賞状・記念品
保険制度の活用など既存住宅流通・リフォーム市場拡大に資するもの
- ・審査委員特別賞 ……………(数点)賞状・記念品
総合的に優秀で、社会的意義の高い特長を有するもの

- ・優秀賞 ……………(20点程度)賞状
総合的に優秀と認められるもの
- ・ナレッジ賞 [新設] ……………(数点)賞状
小規模、少額、部分リフォーム等構造・費用等の制約に対応した工夫を凝らしたもの

※入賞者(設計担当者または施工担当者として応募フォームに記載されている方)で、「<住宅リフォームエキスパート>増改築相談員」または「マンションリフォームマネジャー」の資格をお持ちの方には個人表彰も行います。

□ 事務局

公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター 「住まいのリフォームコンクール」担当

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-7 九段センタービル3階
TEL:03-3556-5144 E-mail reform@chord.or.jp
WEB サイト https://www.chord.or.jp/reform_contest/

□ 応募条件等

住宅から、あるいは住宅への用途変更を伴うものを含め、施主や居住者の住生活の向上に寄与し、住みやすく、安心・快適な住まいを実現するリフォームを全国から幅広く募集します。

対象となる住宅リフォーム工事では、施主・居住者が計画や施工等へ積極的に参画したリフォーム工事のほか、例えば、水回りだけの部分リフォームなど小規模なリフォーム工事、マンション共用部分の大規模修繕工事などの事例も広く募集します。

また、周辺環境やニーズの変化に対応して、住宅以外の建物を住宅として再生した事例、及び、空き家をはじめ住宅を、カフェ、コミュニティ施設、子育て支援・高齢者福祉施設など住宅以外に用途変更したストック活用の事例を募ります。

● 応募条件

(1) 応募者の要件

応募者は、応募作品のリフォームの依頼主(施主)、設計者、施工者を原則としますが、その他関係者からの応募も可能です。

- ・依頼主(施主)が応募する場合は、必ず設計者及び施工者に応募する旨を伝え、応募フォームに社名・担当者名等を記入してください。
- ・設計者又は施工者が応募する場合は、必ず依頼主(施主)の同意を得てください。
- ・審査結果は応募フォームにご入力いただいた内容で公表されます。また、設計者、施工者名のみ公表されます(施主やその他関係者の氏名等は公表されません)。応募手続き後の変更はできませんのでご注意ください。

(2) 応募対象

2023年7月から2025年6月までの間に、リフォーム工事が完了したもので、下記の条件を満たすものを対象とします。

- ・ここで言う「リフォーム」とは、増築、改築、模様替え、修繕等をいいます。
- ・リフォーム前または後が住宅(マンションの共用部分、シェアハウス、二拠点居住、別荘、民泊、グループホーム等の福祉系居住施設を含む)で、国内にあるものに限りです。
- ・住宅の構造、建方形式は問いません。
- ・建築基準法等関係法令の各種規定を遵守しているものを対象とします。
《応募に関するQ&A Q4参照》
- ・原則として、建物全体の耐震性が確保されていることが明らかなものを対象とします。
《応募に関するQ&A Q9～11参照》

※用途変更を伴う場合(【非住宅→非住宅】は対象外)

【非住宅→住宅タイプ】

想定される用途変更前の用途

- ①オフィス ②倉庫 ③工場 ④宿泊施設 ⑤併用住宅 ⑥その他

【住宅→非住宅タイプ】

想定される用途変更後の用途

- ①店舗・飲食店 ②宿泊施設 ③多目的スペース(アートギャラリー・地域体験交流施設等)
④子育て支援施設 ⑤高齢者福祉施設 ⑥図書館 ⑦工房 ⑧これらとの併用住宅
⑨その他

(3)応募に必要なデータ等

- ①応募登録項目(応募フォームに入力いただく項目)
(タイトル/応募者/設計担当者/施工担当者/応募について/応募住宅(建築物)の概要 等)
- ②「応募用紙」のデータ
…写真、図面を貼付し、所定の事項を記入したものを<PDF(データサイズは5MB 以内)>
- ③用途変更に関する説明資料 ※用途変更を伴う場合
当該リフォーム工事が、建築基準法の確認申請が必要となる用途変更の場合、その申請書類及び確認済証の写し

□ 審査手数料

- 4,000 円(消費税込)/1 作品
※2 作品以上まとめて応募される場合も一律に 1 作品あたり 4,000 円(消費税込)

□ 応募作品の取り扱い

- 1)提出された資料は理由の如何を問わず返却しません。
- 2)応募作品は、本コンクールの目的にのみ使用いたします。また、入賞作品については、当財団が新聞、雑誌、WEB サイト等を通じて公表することができるものとします。なお、応募登録された氏名などの応募者に係る個人情報、当財団個人情報保護方針(WEB サイトにて公開)に基づき、適切に管理いたします。
- 3)入賞作品は、設計・施工の会社名・個人名を付して、10 月上旬に開催予定の「住生活月間中央イベント」の会場で展示するほか、各地で開催される住まいやリフォームのイベント、展示会、WEB サイト等で一般公開する予定です。
- 4)入賞作品については、展示パネルの作成等のため、写真データ等の提出(無償)をお願いすることがありますので予めご了承ください。また、上位賞については、募集リーフレット等のため、写真を使用させていただくことがあります。写真データ等の使用については、撮影者の同意を得ておいただき、写真使用時に撮影者名の明記が必要な場合は、応募用紙にその旨をご記入ください。

□ その他

- 1)所定の「応募用紙」を使用していないもの、「応募用紙の作成方法」に従っていないもの、また、審査手数料の振り込みが確認できないものは、審査の対象となりません。
- 2)国土交通大臣賞受賞者は、10 月上旬に開催予定の「住生活月間中央イベント」へのご出席をお願いします。
- 3)上位賞受賞者は 10 月上旬の表彰式に出席し、作品講評会に参加していただくことがあります。

□ 応募の手順

応募期間中に、①エントリーフォーム(STEP2)の入力 および ②応募フォーム(STEP5)の入力(「応募用紙」等のアップロード)まで終えて、応募完了となります。

以下、応募手順をご確認のうえ、手続きを行ってください。

STEP1 応募要項を必ずご確認ください。

STEP2 エントリーを行ってください。

※1つの住宅につき、1作品ずつエントリーしてください。

※エントリー後、エントリーフォームに入力したメールアドレス宛に、エントリー受付メール(エントリー受付番号)が届いていることをご確認ください。エントリー受付メールが届かない場合は、「応募者氏名」「エントリー日」をご記載のうえ、事務局(E-mail reform@chord.or.jp)までお問い合わせください。

STEP3 「応募用紙」をダウンロードして、データを作成してください。

※応募用紙等の作成に際しては、「応募用紙の作成方法」をご参照ください。

※1つの住宅につき、1作品を作成してください。同一住宅にて複数作品の応募はできません。

※データは、PDF(データサイズは5MB 以内)で作成してください。

STEP4 審査手数料をお振り込みください。

エントリー後1週間以内に、下記の振り込み先にお振り込みください。

【審査手数料】

4,000 円(消費税込)/1作品

※2作品以上まとめて応募される場合も一律に1作品あたり4,000円(消費税込)

〈振り込み先〉

●郵便振替の場合

・郵便振替口座番号:00130-8-82701

加入者名:公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター

※振り込みの際は「通信欄」に「①エントリー受付番号 ②エントリー時氏名 ③コンクール審査手数料」と明記してください。

※応募作品が複数ある場合は、審査手数料をまとめてお振り込みください。

その場合は、必ず「通信欄」に「①すべてのエントリー番号 ②エントリー時氏名 ③コンクール審査手数料」と明記してください。なお、エントリー者が複数いる場合は、「①エントリー受付番号 ③コンクール審査手数料」のみでかまいません。

●他金融機関等から振り込む場合

・銀行名 ゆうちょ銀行

・金融機関コード 9900

・店番号 019

・預金種目 当座

・店名 〇一九店(ゼロイチキュー店)

・口座番号 0082701

・口座名義 公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター

※「振り込み依頼人名欄」に「エントリー受付番号」+「エントリー時氏名」を入力いただき、振り込みをお願いします。

※応募作品が複数ある場合は、審査手数料をまとめてお振り込みください。

その場合は、必ず「振り込み依頼人名欄」に「すべてのエントリー受付番号」+「エントリー時氏名」を明記してください。

例:3作品応募の場合:「24 36 49 スマイル ハナコ」

10作品応募の場合:「1カラ 10 カブ スマイルケンチクセツケイ」

なお、エントリー者が複数いる場合は、「エントリー受付番号」のみでかまいません。

※振り込み手数料は各自ご負担願います。

※一旦収納した審査手数料は、原則として返還いたしません。

※【適格請求書登録番号】T7-0100-0501-8856

【適格請求書発行事業者氏名】公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター

STEP5 応募フォームから応募情報を入力してください。

① 応募登録項目をご確認ください。

② 応募フォームに、応募情報をご入力ください。

③ 「応募用紙」等をアップロードしてください。〈PDF(データサイズは5MB以内)〉

④ 応募登録後、応募フォームに入力したメールアドレス宛に、応募受付メールが届いていることをご確認ください。

※応募締切日が近づくと、応募フォームへのアクセスが集中し、アップロード等に時間がかかる場合があります。余裕をもって応募手続きを行ってください。

※応募受付メールが届かない場合は、「応募者氏名」「作品タイトル」「申込日」をご記載のうえ、事務局(E-mail reform@chord.or.jp)にお問い合わせください。

応募完了

□ 審査の流れ

1 一次審査(書類審査)【6月下旬～】

審査は、応募フォームに入力いただいた応募情報および「応募用紙」により審査し、入賞候補作品を決定します。

※審査過程において、質問や追加資料の提出をお願いすることがあります。

※一次審査通過作品については、7月中旬以降に当財団 WEB サイトにエントリー受付番号を掲載します。



2 二次審査(書類審査)【～7月下旬】



3 現地審査【7月下旬～8月中旬】

上位賞候補作品については、審査委員が現地を直接訪問し、当該住宅などの調査と応募者や居住者へのヒアリング等による確認を行った上で、受賞作品を決定します。

※現地における調査やヒアリングに替えて、書面やリモートでの審査を行う場合があります。



4 最終審査【8月下旬】



5 審査結果(入賞)通知【9月上旬】

審査結果(入賞)は、9月上旬に入賞者にメールで通知します。
なお、入賞者以外への通知はいたしません。



6 入賞者表彰式にて審査結果(上位賞)発表等【10月上旬】

審査結果(上位賞)は、10月上旬に行われる入賞者表彰式にて発表されます。
また、審査結果については、入賞一覧を当財団 WEB サイトに掲載します。

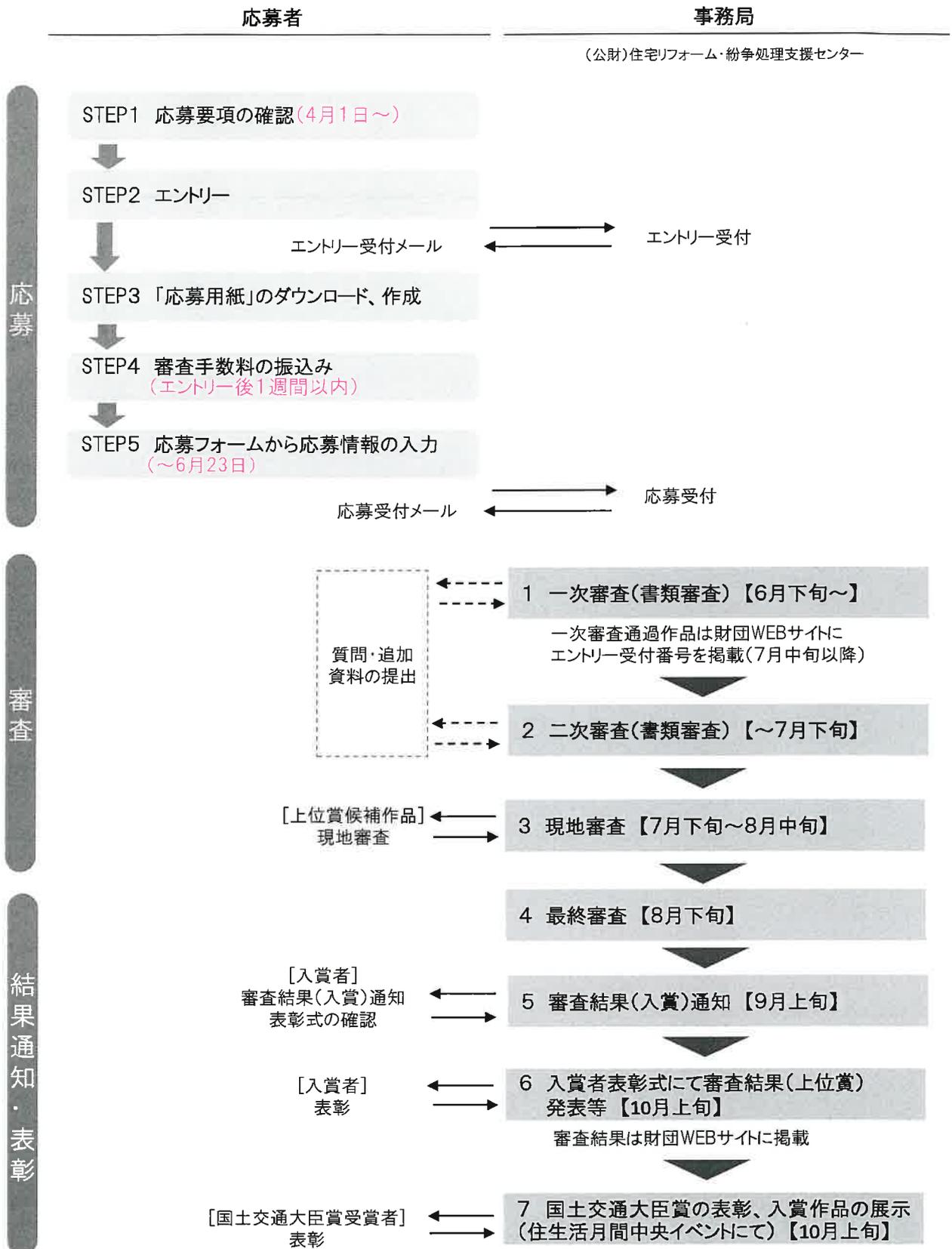


7 国土交通大臣賞の表彰、入賞作品の展示(住生活月間中央イベントにて)【10月上旬】

国土交通大臣賞は、10月上旬に行われる住生活月間イベントにおいて、国土交通大臣から表彰授与されます。

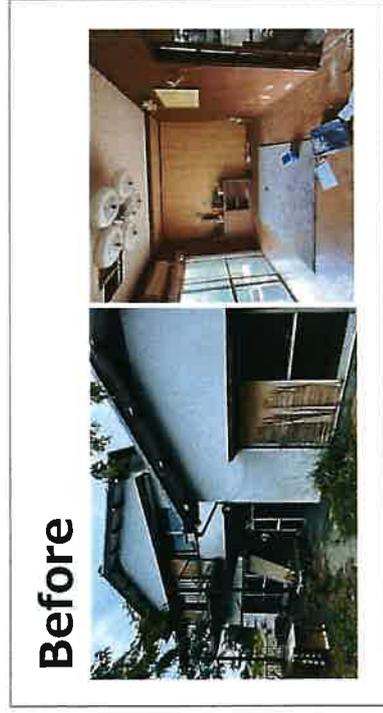
第42回住まいのリフォームコンクール 応募フロー

募集期間 2025年4月1日(火)～6月23日(月)



瀬戸 2棟空き家の改修

設計：アトリエメイ一级建築士事務所 施工：株式会社箱屋 施工：児玉 佑司



- 首都圏に居住していた30代のご夫婦が、新しいワークスタイルの実現のため、夫の故郷に近い地域の空き家を購入し、リフォームした事例。
- 建物を「公・共・私」として設定・計画し、他者との様々な関わり方ができる場所とした。
- 空き家の有効活用、子育て環境の充実、働き方の未来像への接近、地域活性化への貢献等、様々な政策課題にも関係する素敵な実践例として評価された作品。



LIFE TOOL HOUSE

＜壁式団地リノベの最適解＞

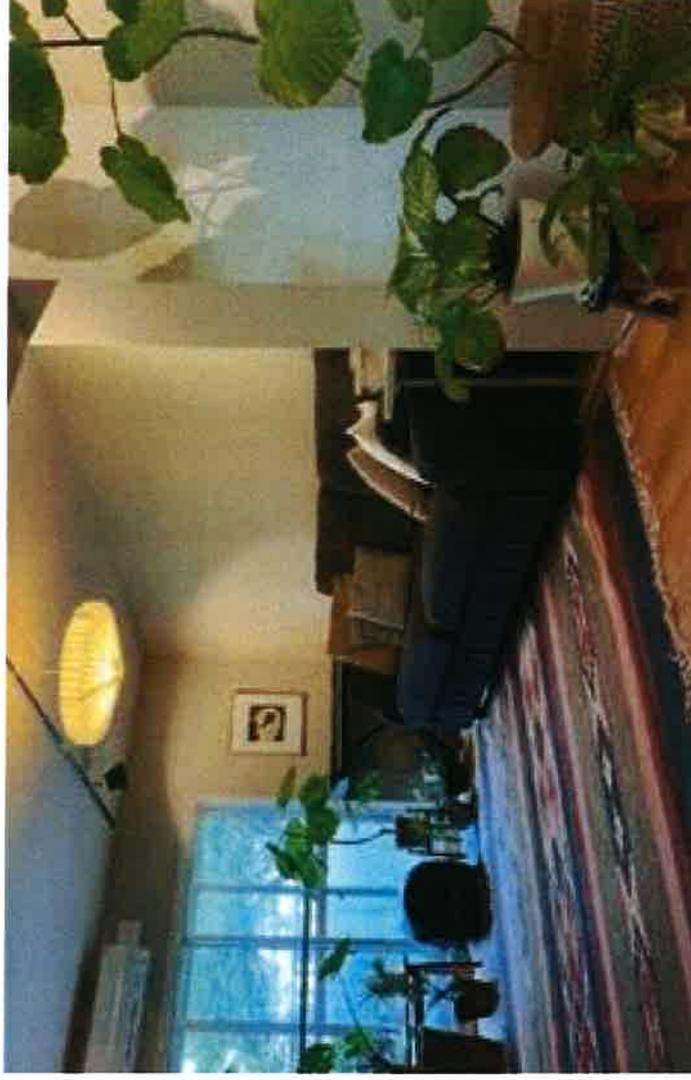
社会課題の解決に資する取り組み事例
ハーフセルフビルドにより団地をリノベーションした事例

設計・施工：エミマルリノベ

Before



- 自分たちで楽しみながら出来る範囲で施工を行い、必要に応じてプロの力を借りる「ハーフセルフビルド」の取り組みは、今後も増えてくるとを予感させる。
- 手を加え過ぎず、使いやすい道具としての家を目指したこのリノベーションは、団地再生のモデルとなりうる作品として評価された作品。



キーワード: DIY | ハーフセルフビルド | 団地再生 | 壁式 | 回遊性

https://www.refonet.jp/csm/case/contest_41_03.html

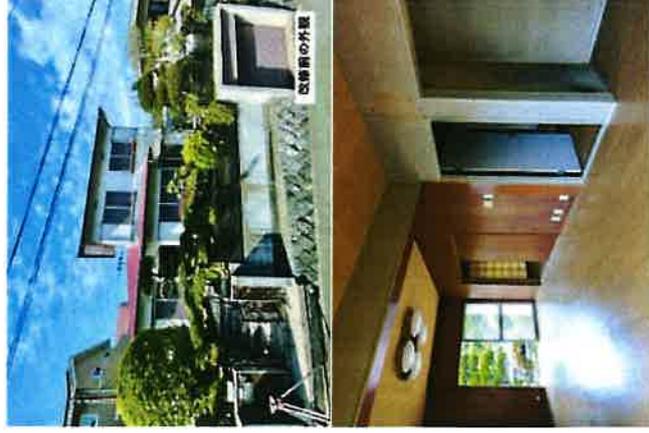
にわのある家

一外庭と内庭があり、明るく開放的ないえー

社会課題の解決に資する取り組み事例
既存住宅の流通促進と空き家が増えない取り組み

設計：一級建築士事務所YWA 施工：(株)POS建築観察設計研究所

Before



- (一財)神戸住環境整備公社が昭和30年代に開発されたニュータウンにある戸建て住宅をリフォームのモデルハウスにした事例。
- リフォームにより次世代に受け継ぎ、住み続けられる例を住民に提示することで、既存住宅の流通を促進し、空き家が増えない取り組みとして評価された。



キーワード： 空き家 | 子育て | 既存住宅流通 | 公社 | モデルハウス

https://www.refonet.jp/csm/case/contest_40_07.html

最小限リフォームで生み出す大人時間

小規模、少額、部分リフォーム等事例

設計：(株)オットー・デザイン 施工：(有)ハッピークリーン

Before

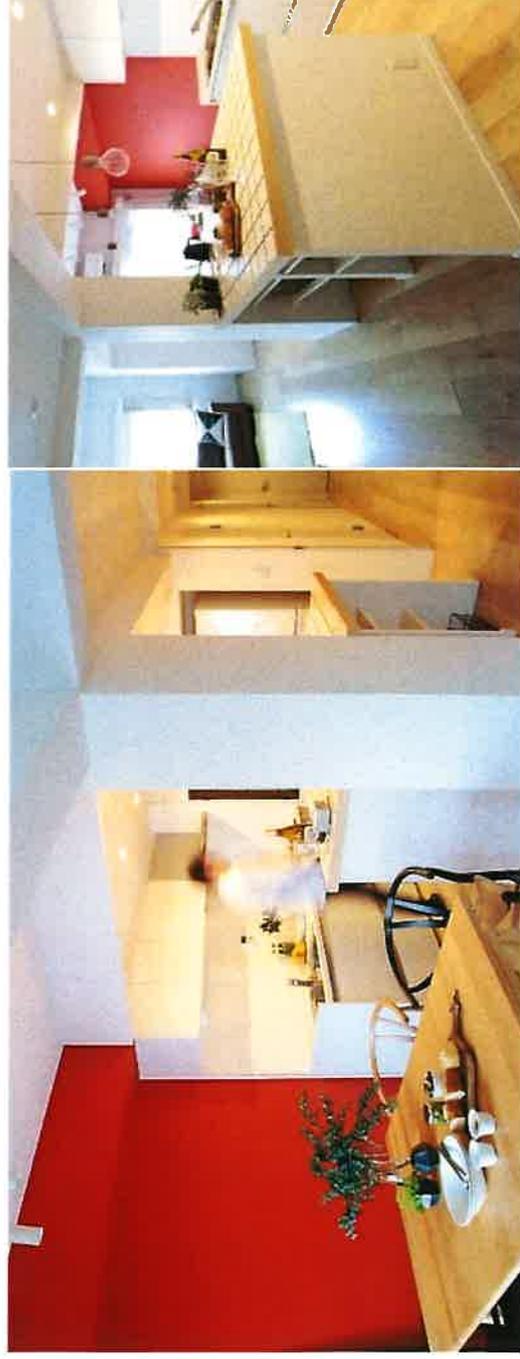
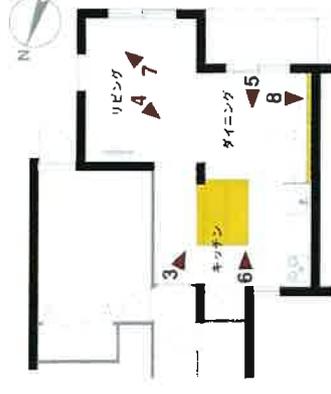


- 該当工事床面積 4㎡
- 該当部分工事費 77万円
- 施工期間 12日

リフォーム前の平面図



リフォーム後の平面図



収納を一つ取り払ったことで、そこに今までと全く違ったひろびろとした空間が誕生した。タイル張りの広いカウンターと赤い壁が、仲間と集うことの楽しさをより盛り上げている。暮らしを変える魔法のような変化を、この低予算で実現したことも評価された作品。



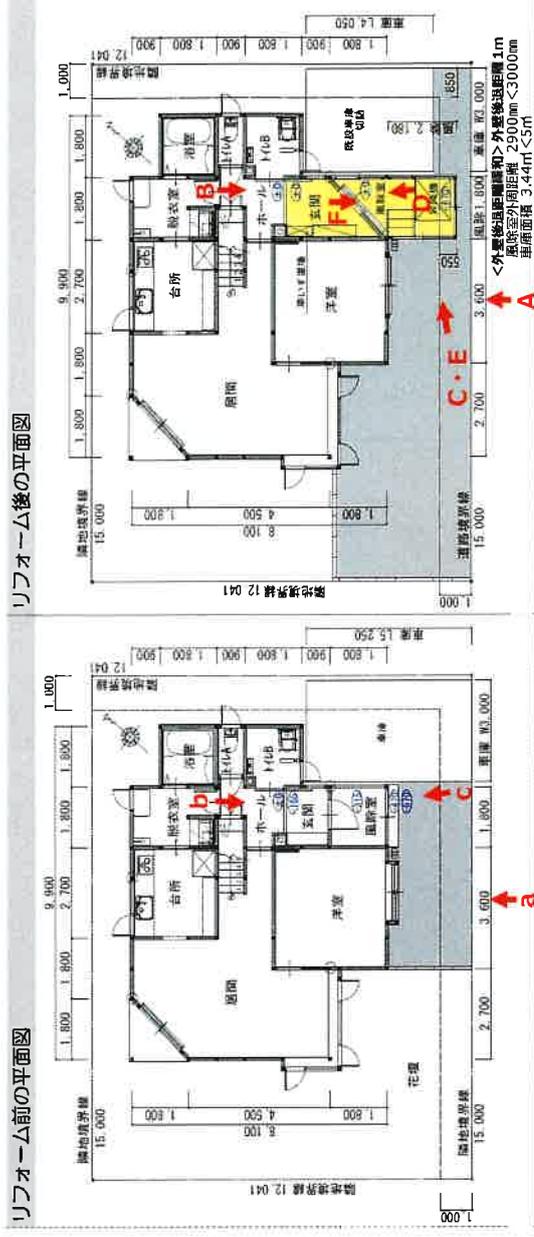
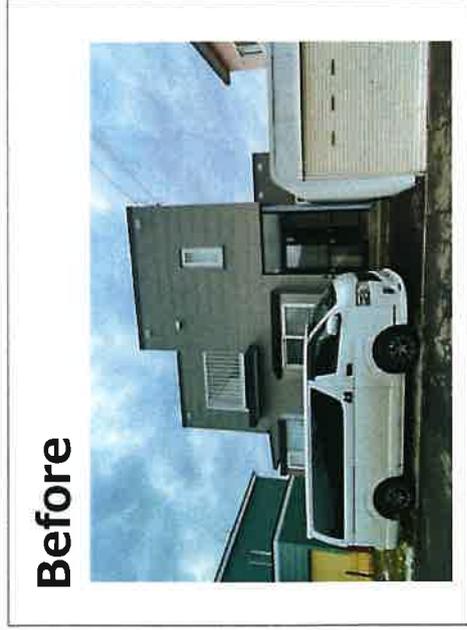
キーワード： キッチン | 最小限リフォーム | キッチンカウンター | LDK | ローコスト | マンション | 壁構造

https://www.refonet.jp/csm/case/doc/contest_35/14.pdf

車いすでの自立生活を叶えたい！ ～雪国のナメ玄関革命～

小規模、少額、部分リフォーム等事例

設計・施工：(株)土屋ホームトピア



- 該当工事床面積 9.6㎡
- 該当部分工事費 556万円

車椅子でも生活できる戸建てを購入し
家への出入りをスムーズにする工夫を
施した。斜めの玄関が風除室と昇降機
の3空間を見事に使いやすくしている。
車椅子利用の息子さんにとって外出機
会が増える改修は大きな一歩への足が
かりになったであろう。



キーワード： 最小限リフォーム | 車いす | 玄関 | 風除室 | 昇降機 | 部分リフォーム

https://www.refonet.jp/csm/case/doc/contest_41/21.pdf#page=1

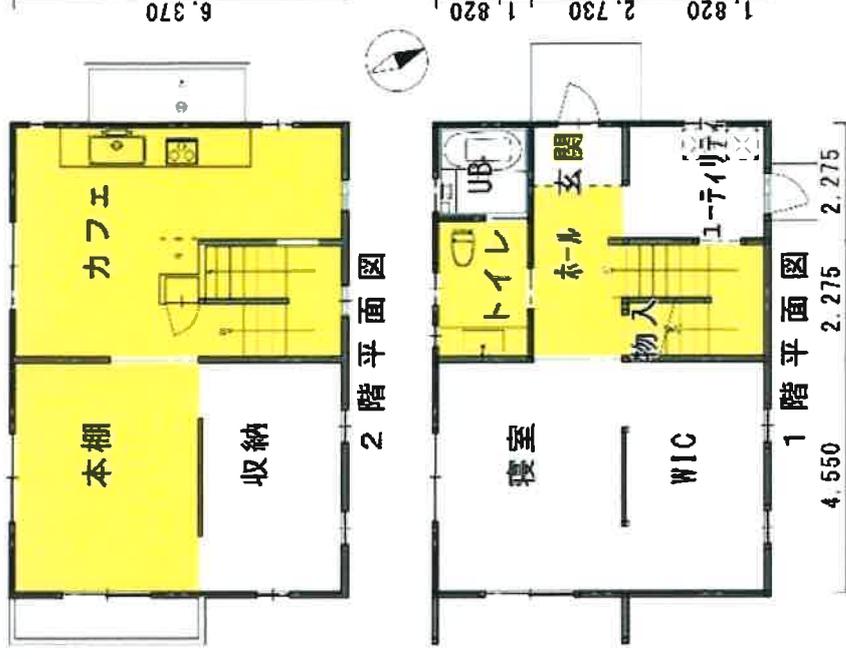
DIYブックカフェ“underneath the tree”

小規模、少額、部分リフォーム等事例

設計・施工：喜多ハウジング(株)



Before



- 該当工事床面積 62㎡
- 該当部分工事費 95万円
- 施工期間 10日

自然科学や北欧デザインの本、奥様との思い出の絵本で部屋を埋め尽くす本棚は、仕事柄、大工道具の使い方に慣れているご主人がDIYでつくった。本棚の転倒防止など、安全上重要な部分は大工のサポートを受けて進めたが、その他、素人ではできない部分については、デザインに定評のある地元のリフォーム会社を頼った。本来、住宅以外は手がけない会社だったが、施主の強い思いに動かされ、必要最低限の工事を行うことで、このプロジェクトを支えた。

キーワード：用途変更 | DIY | ブックカフェ | セカンドライフ | 本棚 | ローコスト | 北欧デザイン

https://www.refonet.jp/csm/case/contest/39_06.html



街をつくる“建設”と“人”を、写真で伝える。

資料-8

いばらき

建設フォトコンテスト

Ibaraki Construction Photo Contest

2025

建物、道路、橋、港湾、トンネル、ダムなど、人々の暮らしを支え、街をつくる「建設のある茨城の風景」や、全国の「人と建設のつながり」を表現した写真を募集します。

一眼レフからスマートフォンのカメラまで、撮影した写真をご応募いただけます。お一人何点、何回でもご応募いただけます。



応募締切: 2025年7月30日(水) 応募方法: WebまたはInstagram

各賞

Web応募作品

- 最優秀賞 (A部門・B部門 各1作品) 5万円分の商品券・賞状
- 特選 (A部門・B部門 各4作品) 2万円分の商品券・賞状
- 準特選 (A部門・B部門 各1作品) 1万円分の商品券・賞状
- U22特別賞 [22歳以下対象] (A部門・B部門 各1作品) 1万円分の商品券・賞状
- 入選 (A部門・B部門 各10作品) 4千円分の商品券・賞状

Instagram応募作品

- 最優秀賞 (A部門・B部門 各1作品) 2万円分の商品券・賞状
- 特選 (A部門・B部門 各2作品) 5千円分の商品券・賞状

A部門 建設のある茨城の風景 [撮影場所|茨城県内限定]



B部門 人と建設のつながり [撮影場所|限定なし]



発表・入選作品展示

各部門の上位入賞作品は、いばらき建設フォトコンテスト公式ホームページにて発表・掲載予定です。その他、茨城県内の建設系イベント、公共施設等にて入賞作品を展示予定です。



審査員

板見 浩史 いたみ こうじ

フォトエディターとして多くの写真賞やコンテストの審査を担当。公益社団法人日本写真協会(PSJ)顧問。カメラのキタムラ フォトカルチャー倶楽部理事。

応募に関するお問い合わせ

一般社団法人 茨城県建設業協会 フォトコンテスト係 TEL.029-221-5126 受付時間 平日9:00~17:00

いばらき建設フォトコンテスト

主催 | 一般社団法人 茨城県建設業協会 / 建設未来協議会

<https://www.ibarakikensetsuphoto.com>

いばらき建設フォトコンテスト

検索

後援 | 国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所・茨城県・一般社団法人 日本フォトコンテスト協会(JPO)・東日本建設業保証株式会社茨城支店
協力 | 建設業労働災害防止協会茨城県支部



応募部門テーマ

A部門

建設のある茨城の風景 [撮影場所 | 茨城県内限定]

A1 | 地域を支えるインフラ

A2 | 地域に溶け込む「建設」

A3 | 重機の魅力

B部門

人と建設のつながり [撮影場所 | 限定なし]

B1 | 工事現場の人たち

B2 | 「建設」とくらし

B3 | 「建設」とのふれあい

応募作品について

- お一人何点、何回でもご応募いただけます。
- 応募後の辞退はできません。
- カメラの他、スマートフォンで撮影した写真でもご応募いただけます。
- 単写真となります(組写真は不可)。
- 応募作品は未発表かつ発表予定のないものに限り、他のコンテストへの二重応募または類似作品とみなされる作品は失格となります。ただし、SNSやブログに掲載した作品については応募可能です。
- 被写体が人物の場合、ご応募に際しては、必ずご本人(被写体)の承諾をいただください。また、被写体が未成年の場合は、親権者の承諾が必要となります。
- 他人の著作権、肖像権を侵害するような行為が行われた場合、それに関するトラブルの責任は一切負いかねます。
- 入賞決定後に違反が判明した場合は、入賞を取り消させていただく場合がございます。
- AIによる画像生成した作品は応募できません。
- Instagramからの応募作品は、自動的にインスタ賞(インスタ最優秀賞、インスタ特選)での審査となります。

発表について

- 審査などの都合によりスケジュールは変更させていただく場合がございます。
- 入賞作品は、建設フェスタ他イベント、公共施設等にて展示、HPに掲載、SNSにて配信されます(予定)。

Web応募の場合

- ホームページでの発表と郵送による通知をもってお知らせします。

Instagram応募の場合

- ホームページでの発表と入賞通知はInstagramのダイレクトメッセージでお知らせします。Instagram画面左下のホームボタンを押して、画面右上の紙飛行機マークまたは雷マークのところに届きます。
- 入賞通知にて入賞者情報入力フォームURLをお送りし、商品発送先のお名前・ご住所・お電話番号を確認します。
- ダイレクトメッセージで期日までの返信のない方は入賞を取り消す場合がございますので、あらかじめご了承ください。

応募作品の著作権・使用権

- 応募作品の著作権は撮影者に帰属します。
- 本コンテスト主催・企画運営団体、日本フォトコンテスト協会および協賛・後援・協力団体は広報宣伝物への掲載を目的とし、入賞作品を無償で使用する権利を有します。なお、掲載時において編集上の制約や配慮(印刷色合いや大記載の違い、背景を写し込んだ人や物、掲載不能部分のボカし処理やトリミングなど)により、作品を加工する場合がございます。



その他注意事項

- 応募者本人が撮影し、すべての著作権を有しているものに限り、他の人の名前を使用した場合は失格になります。
- 工事現場内および現場周辺での撮影では、安全管理を徹底し、必要に応じて現場管理者の許可を取ってその指示に従ってください。
- 現場写真で安全基準が守られていない場合は選外となります。
- 応募用紙に記載いただく個人情報、入賞通知・賞品送付など本コンテストを運営するために必要な範囲で使用させていただきます。入賞以外の個人情報は審査終了後、責任を持って破棄いたします。入賞された場合は入賞リストに記載され、主催・企画運営団体である一般社団法人茨城県建設業協会および後援団体、協賛企業にて使用させていただきます。また、入賞された作品の「タイトル」と「撮影者のお名前」「Instagram応募の場合はアカウント名」は発表掲載時に広く告知される場合があります。※「入賞」とは、最優秀賞から入選まで、どれかの賞に入ることを表します。
- Instagramアカウントが非公開の場合、応募対象外となってしまいますので、必ず[公開]に設定してからご応募ください。
- Instagramの利用規約の順守をお願いいたします。
- 本コンテストは、Instagramが支援、承認、運営など関与するものではありません。
- Instagramの応募で、ハッシュタグがない、もしくは間違えている場合は無効となります。

応募に関する
お問い合わせ

一般社団法人 茨城県建設業協会 フォトコンテスト係 TEL.029-221-5126 受付時間 平日9:00~17:00

Webからの応募方法

ホームページにアクセス

いばらき建設フォトコンテスト 

<https://www.ibarakikensetsuphoto.com>

応募フォームに必要事項を入力して送信ください。
応募作品画像の容量は1枚10MB未満に調整してから、
JPEG形式でフォームにアップロードしてください。

Instagramからの応募方法

建設未来協議会アカウントをフォロー 

下記のハッシュタグいずれかをつけて
投稿してください。

#いばらき建設フォトコンテスト2025A部門
#いばらき建設フォトコンテスト2025B部門